

I 東海地方における農業の特徴

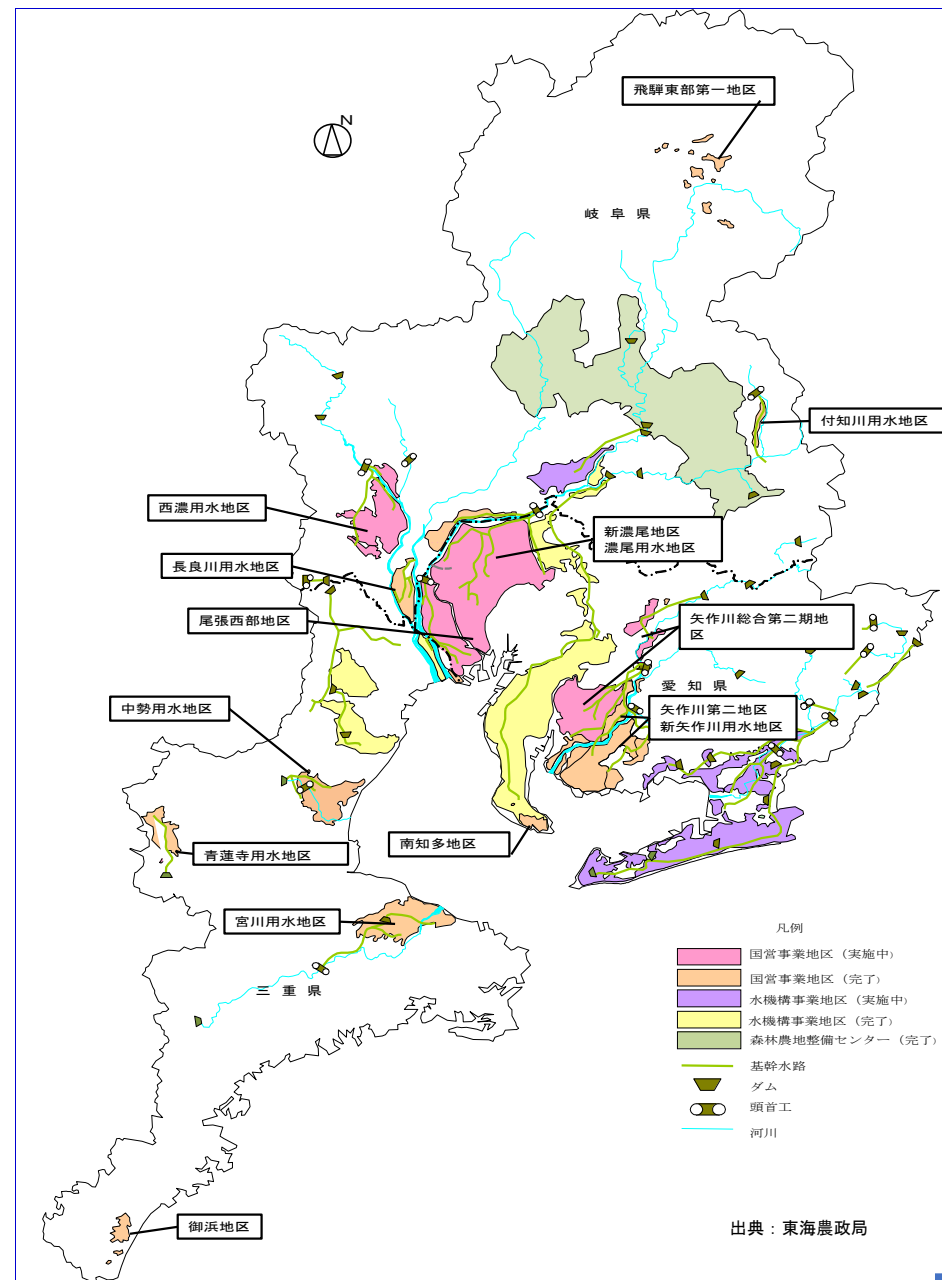
1 (1)概況

東海地方は、国土面積の5.5%、総人口の8.8%を占め、海拔0m地帯の濃尾平野西南部から3,000mを超す飛騨山間部まで、温暖地域から豪雪地域までを有する多様な自然環境条件が存在しています。

梅雨や南東季節風の影響で夏を中心に降水量が多く、また、南部地域では、沖合を黒潮(日本海流)が流れるため、冬でも温暖な地域となっています。

それぞれの地域の気候を活かし、大消費地の名古屋圏を抱え、首都圏や近畿圏へもアクセスが容易という利点から、水稻のみならず、野菜、花きなどを中心に幅広い種類の農作物を生産しています。

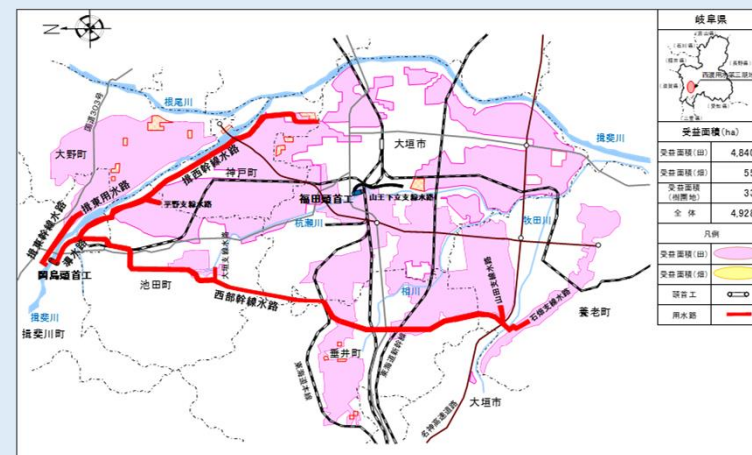
また、木曽川や豊川など多くの河川があり、その河川を利用した愛知用水や豊川用水などの整備により、豊富な水を活用した多様な農業が営まれています。畑地かんがい施設の整備では、愛知用水や豊川用水等を有する愛知県の整備率が60%となっており、全国平均の24%を大きく上回っています。



(2)東海3県の農業を支える用水① 水の恵みを明日につなぐ「西濃用水」

【西濃用水】

- 岐阜県の西濃地域は、揖斐川やその支流の扇状地に拓けた地域であり、農業用水は古来より、河川、ため池、井戸のほか、地下水を集める横穴である「マンボ」を掘って水源とするなどの努力もなされてきたが、いずれの水源も不安定であるため、干ばつにしばしば襲われました。
- 一方、低平地では、江戸時代より洪水から集落や農地を守るために、その周囲に堤防を巡らせた「輪中(わじゅう)」が作られ、明治時代は湛水が著しく、土地の一部を掘って別の場所に積み上げた「堀田(ほりた)」による稲作も営まれました。
- このような状況の中、国営かんがい排水事業「西濃用水地区」(昭和43～58年度)が実施され、岡島頭首工及び幹線用水路を造成しました。併せて、ほ場整備事業等が実施されたことにより、水稻と麦・大豆の他、ブロッコリー、柿等の高収益作物が導入され、この地域の農業形態が大きく変化しました。
- その後、「西濃用水第二期地区」(平成21～26年度)により、老朽化した施設の改修と、小水力及び太陽光発電設備を整備。令和6年度からは、「西濃用水第三期地区」に着手し、老朽化した施設の改修と耐震化対策を行い、地域農業の維持発展に寄与しています。



ブロッコリー



富有柿



写真出典：大垣市輪中館
(河合孝氏撮影)

南部の湛水地域独特の堀田での営農状況



岡島頭首工 (造成時)



マンボ (横井戸)

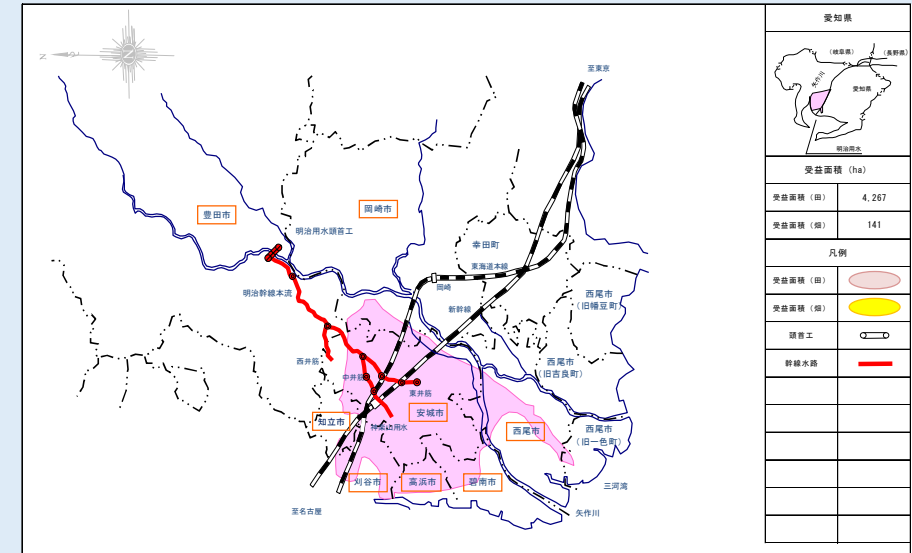


提供：垂井町生涯学習課
(タリイピアセンター)

(2)東海3県の農業を支える用水② 疏通千里・利澤萬世(そつうせんり・りたくばんせい)「明治用水」

【明治用水】

- ・明治用水は先人達により水の乏しい碧海台地に通水することを目的として江戸期から構想され、天保時代に計画されるも実現せず、明治期に取水堰や導水堤の建設、井筋の開削が進み、明治13年に完成をみた我が国最古の本格的な用水です。
- ・しかしながら、築造当時の材料や構造を要因とした破損事故が多かったため、国営かんがい排水事業「矢作川総合地区」(昭和45～63年度)等によって、明治用水頭首工や幹線用水路の造成が行われたことにより、農業用水の安定供給と農業経営の近代化が進められました。
- ・その後、水田を畑として活用した小麦や大豆などの土地利用型作物の生産のほか、畑での野菜や果樹などの多様な農業経営が展開されています。
- ・平成14年に東海地震に係る地震防災対策強化地域等に指定されたため、国営総合農地防災事業『矢作川総合第二期地区』(平成26年～)において、明治用水頭首工や幹線用水路などの耐震化対策を行い、大規模地震による災害を防止し、農業生産の維持や経営の安定、国土の保全を目指しています。



かつて「日本デンマーク」と呼ばれた先進農業地帯



大規模な水稲・小麦・大豆ローテーション



安城市のいちじく生産量は全国1、2を争う



明治川神社
(安城市東栄町)



明治本流と明治用水頭首工
(豊田市水源町)



明治用水旧頭首工
(明治42年)

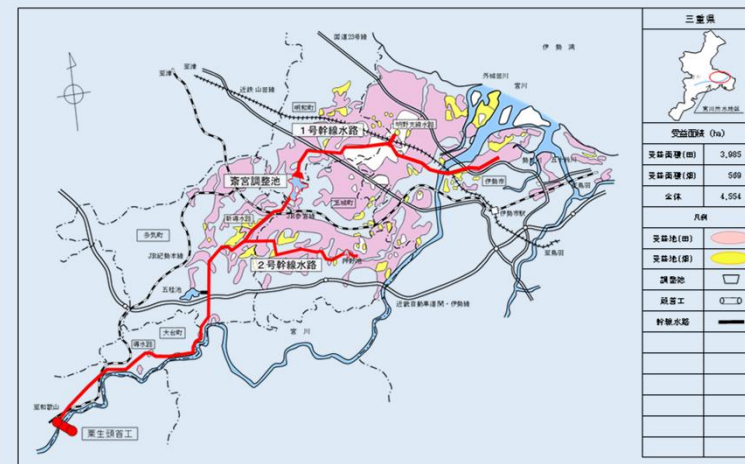


明治用水灌漑地図
(明治30年)

(2)東海3県の農業を支える用水 伊勢平野のさらなる飛躍のために「宮川用水」

【宮川用水】

- 三重県の中・南勢地域に位置する宮川流域は、日本有数の多雨地帯であり、紀伊山脈等の山系の影響によって、高低、広狭、急峻の差が激しく、農業用水は、小河川やため池、地下水の汲み上げに頼っていました。
- このような状況の中、国営かんがい排水事業「宮川用水地区」(昭和32～41年度)により、粟生頭首工と導水路、幹線水路等の基幹的農業水利施設を整備することで、農業用水が確保されました。
- その後、営農形態の変化、ほ場の汎用化、施設の老朽化等を契機に国営かんがい排水事業「宮川用水第二期地区」(平成7～24年度)において、既設導水路の改修、地区内に斎宮調整池を新設、頭首工及び幹線水路の改修等が実施されたことにより、大規模経営体による水稻、小麦及び大豆の土地利用型作物の生産が行われています。
- 近年では、国営施設応急対策事業「宮川用水地区」(平成28～令和3年度)で、粟生頭首工の改修を実施し、更なる農業用水の安定的な確保と維持管理費の節減等を図り、地域農業の維持発展に寄与しています。



受益地内の水田



秋冬ねぎ (野菜指定産地)



いちご

○ 宮川用水事業 (S32～41年度)



造成時の粟生頭首工



造成時の1号幹線水路

○ 土地改良施設整備事業 (S54～60年度)



粟生頭首工護床工 (整備前)



粟生頭首工護床工 (整備後)

○ 宮川用水第二期事業 (H7～24年度)

(写真出典：宮川用水土地改良区ホームページより抜粋)



【斎宮調整池】



【幹線水路】

【トピック 1】大学・専門学校や企業等との連携協定の締結

東海農政局は、未来を担う人材の育成、東海地域の食料供給の安定確保および農業・農村の振興に寄与することを目的に、管内の大学・専門学校や企業等と連携協定を締結し、食料・農業・農村に関する様々な講義やイベント、地域おこしの取組などの共催を行っています。

※ 協定締結数(令和7年3月時点) 大学・専門学校等:10校 企業:5社

鳥羽商船高等専門学校との連携協定

- ・締結日：令和6年9月4日
- ・農林水産省の県域拠点が締結するもの、また農林水産省が高等専門学校と締結するものとしては、いずれも全国発の取組。
- ・この締結を機に、相互の人的・知的資源の交流を一層進め、鳥獣被害や担い手不足等の地域の課題の解決や、低コストスマート農業技術の普及推進を目指す。



中部大学との連携協定

- ・締結日：令和7年3月13日
- ・従前から出張講座等で繋がりがあった関係を強化するため、連携協定を締結し、施策の推進や人材育成等を図る。
- ・農水省主催の環境に配慮した学生の取組についてのコンテストである、「みどり戦略学生チャレンジ」への取組を行うこととしている。



日本郵便株式会社との連携協定

- ・締結日：令和7年3月24日
- ・中山間地域におけるコミュニティの維持や地域資源の利活用などの取組を積極的に支援することを通じて、地域振興の実現に貢献することを目的とする。
- ・連携の内容
コミュニティ維持に取り組む地域の協議会等と郵便局との連携促進
コミュニティ維持の取り組みの拡大に向けた普及啓発
地域の農産物、自然環境や伝統文化などの地域資源の活用促進 など



【トピック2】東海地域で広がる「オーガニックビレッジ」

「オーガニックビレッジ」とは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村のことをいいます。農林水産省は、オーガニックビレッジを先進的なモデル地区として令和7年(2025年)までに100市町村、令和12年(2030年)までに200市町村を目標に順次創出し、横展開を図ることとしています。

東海地域では、令和6年度末までに11市町でオーガニックビレッジ宣言(※)が行われ、オーガニックビレッジの取組が広がっています。

※各地域で有機農業の拡大に向けた「有機農業実施計画」を策定した後に行う宣言のこと。

【東海地域の取組地区】（令和6年度時点・全10地区11市町）

岐阜県：白川町、飛騨市

愛知県：東郷町、南知多町、岡崎市、大府市、美浜町、武豊町

三重県：尾鷲市、伊賀市、名張市

※美浜町と武豊町は共同実施

【取組事例紹介】

○岐阜県白川町

NPO法人ゆうきハートネットを中心に以前から有機農業が盛んな地域。地域の営農組織と有機農業とのあり方についての意見交換や、ブランド化に向けた地域のビジョン及びロゴマークデザインの作成、生産者と消費者、地元住民をつなぐ交流イベント「小農フェス」を開催。



ロゴマーク

○愛知県東郷町

大都市近郊という立地条件を生かし、農産物の高付加価値化による生産者の所得向上と環境に配慮した持続可能な農業へのシフトを加速化させるために地域ぐるみで有機農業を推進。有機農産物と町自体のブランド化を目指しており、オーガニック給食をフラッグシップに有機稲作技術の普及や親子有機野菜作り体験事業、料理教室等を実施。



○三重県尾鷲市

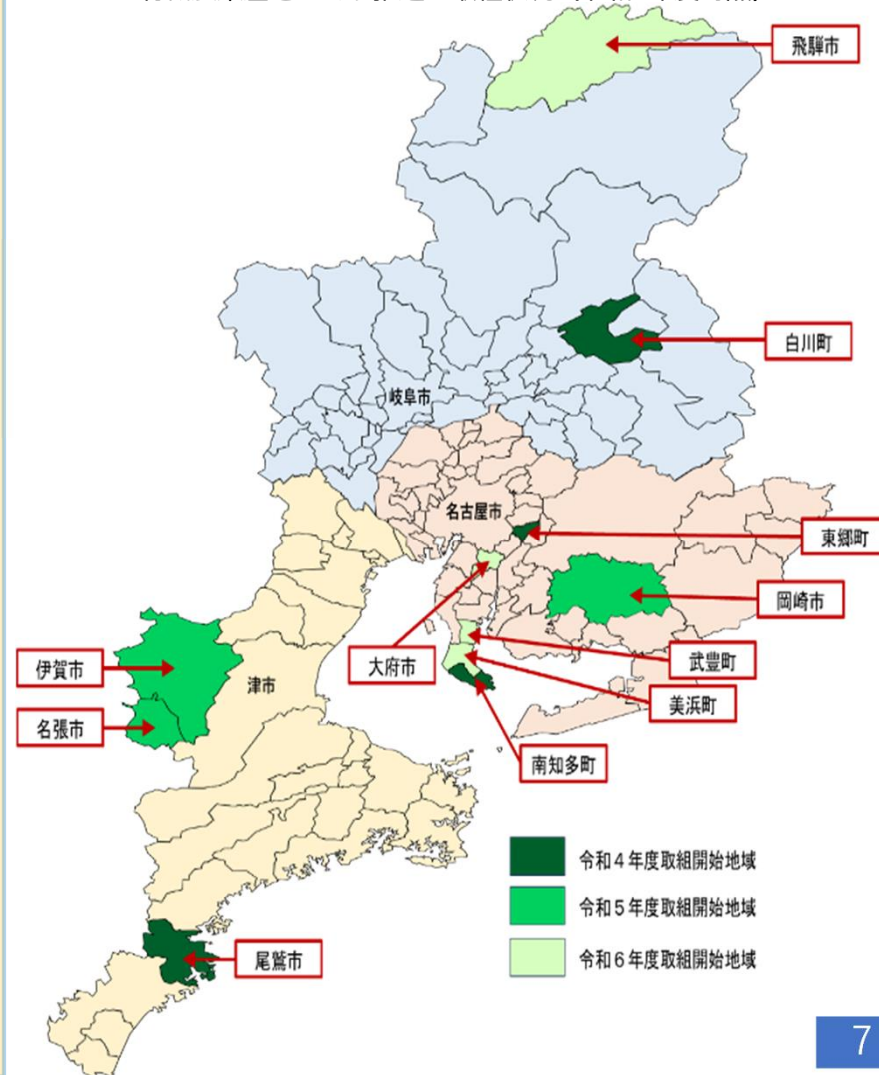
急峻な地形と農家の高齢化等が相まって増加する耕作放棄地の解消を図るため、地域が一体となって地域特産の甘夏に加え、市場のニーズに合わせた新しい作物による有機農業を推進。収量や品質の向上、農業所得の増加に向けて、栽培技術の研修、学校給食での利用、有機農業サミットの開催等の取組を実施。



・関連情報：東海農政局ウェブサイト「[東海農政局管内のオーガニックビレッジ](#)」は[こちら](#)

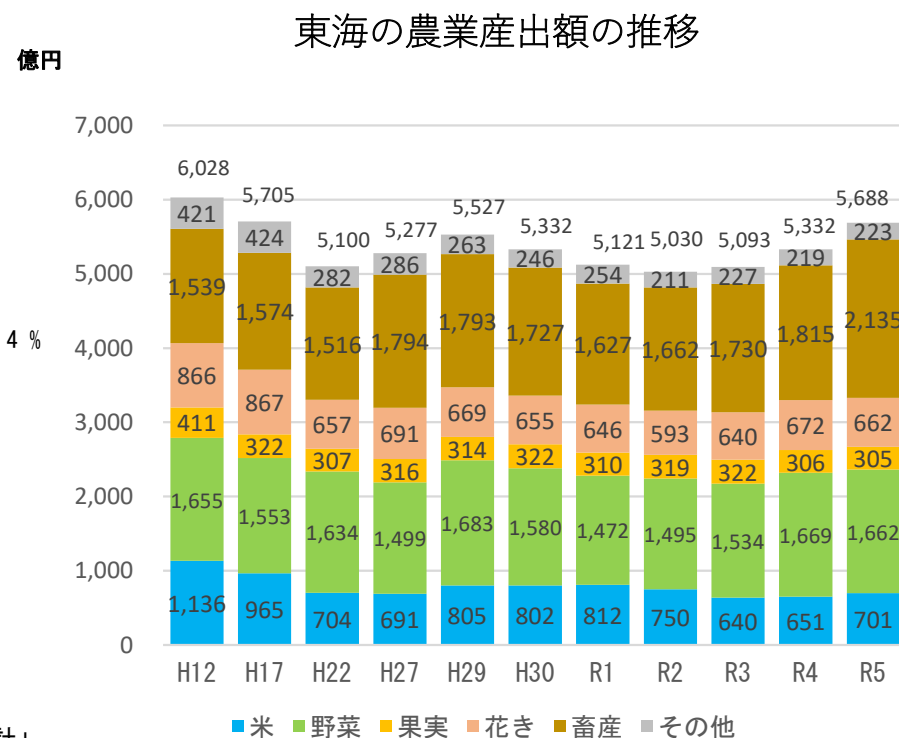
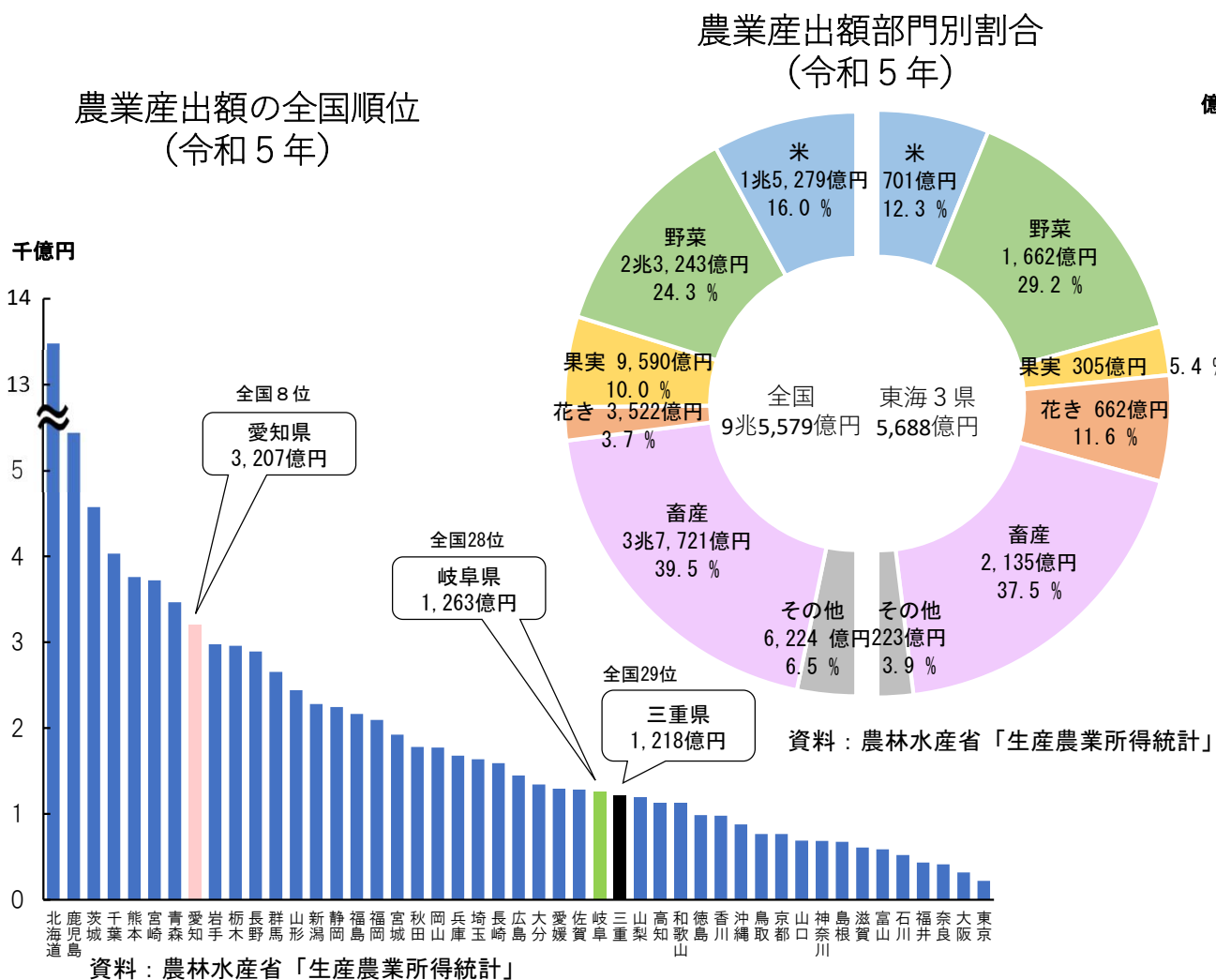


有機農業産地づくり推進の取組状況（令和6年度時点）



2 農業産出額（1）東海地方の農業産出額

- 東海地方における農業産出額（令和5年度）は5,688億円で、全国の6.0%を占めています。
- 近年は5,000億円を超える水準で推移しています。
- 県別にみると、愛知県は3,207億円（全国8位）、岐阜県は1,263億円（全国28位）、三重県は1,218億円（全国29位）となっています。
- 部門別にみると、全国と比べて、野菜や花きの割合が大きくなっています。



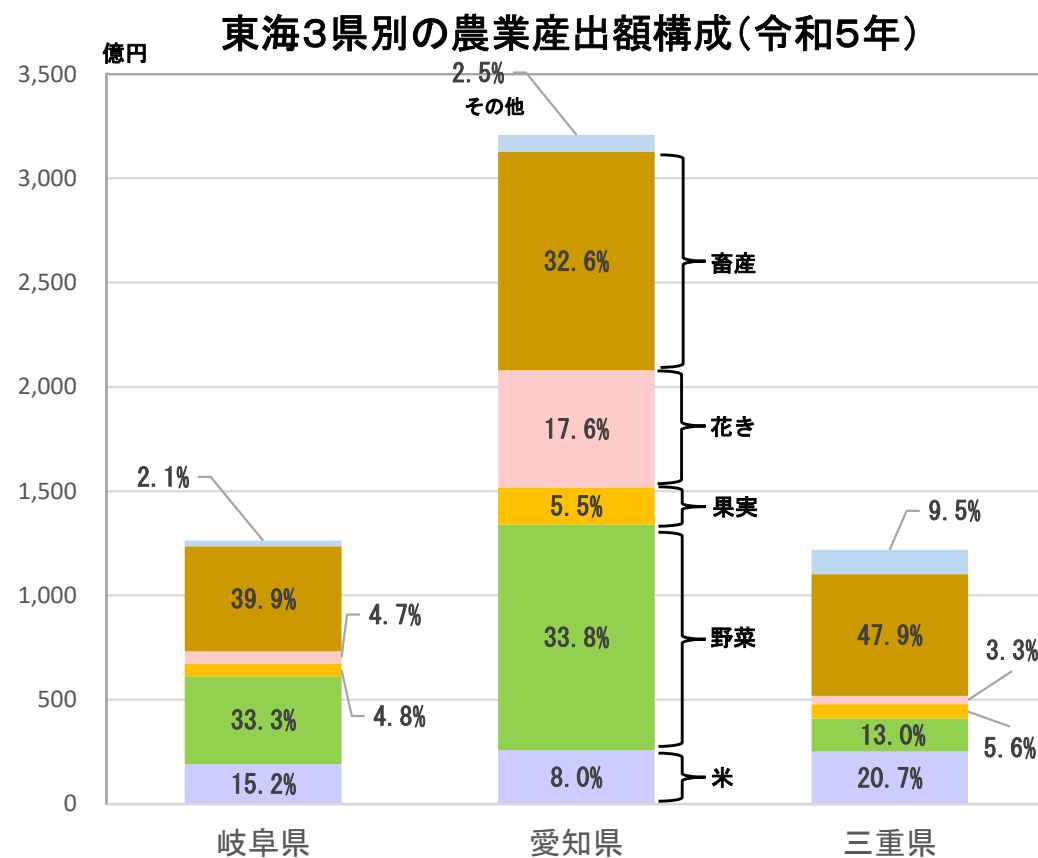
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

(2)各県の品目別農業産出額

【岐阜県】畜産(鶏卵、肉用牛、豚等)が39.9%、野菜(ほうれんそう、トマト、いちご等)が33.3%、米が15.2%の順となっています。

【愛知県】野菜(キャベツ、トマト、しそ等)が33.7%、畜産(豚、生乳、鶏卵等)が32.6%、花きが17.5%の順となっています。(野菜は全国5位、花きは全国1位)

【三重県】畜産(鶏卵、肉用牛、豚等)が47.9%、米が20.6%、野菜、果実、花きの順となっています。



資料: 農林水産省「生産農業所得統計」

岐阜 (億円)				愛知 (億円)			
順位	品目	全国順位(5年)	農業産出額	順位	品目	全国順位(5年)	農業産出額
1	米	26	192	1	鶏卵	6	353
2	鶏卵	19	188	2	豚	9	290
3	肉用牛	19	123	3	米	21	257
4	豚	22	95	4	きく(切り花)	1	218
5	トマト	6	91	5	キャベツ	2	189
6	ほうれんそう	4	59	6	生乳	8	180
7	生乳	29	40	7	トマト	3	161
8	いちご	14	37	8	しそ	1	139
9	かき	4	35	9	肉用牛	18	124
10	ひな(他都道府県販売)	6	25	10	いちご	6	112

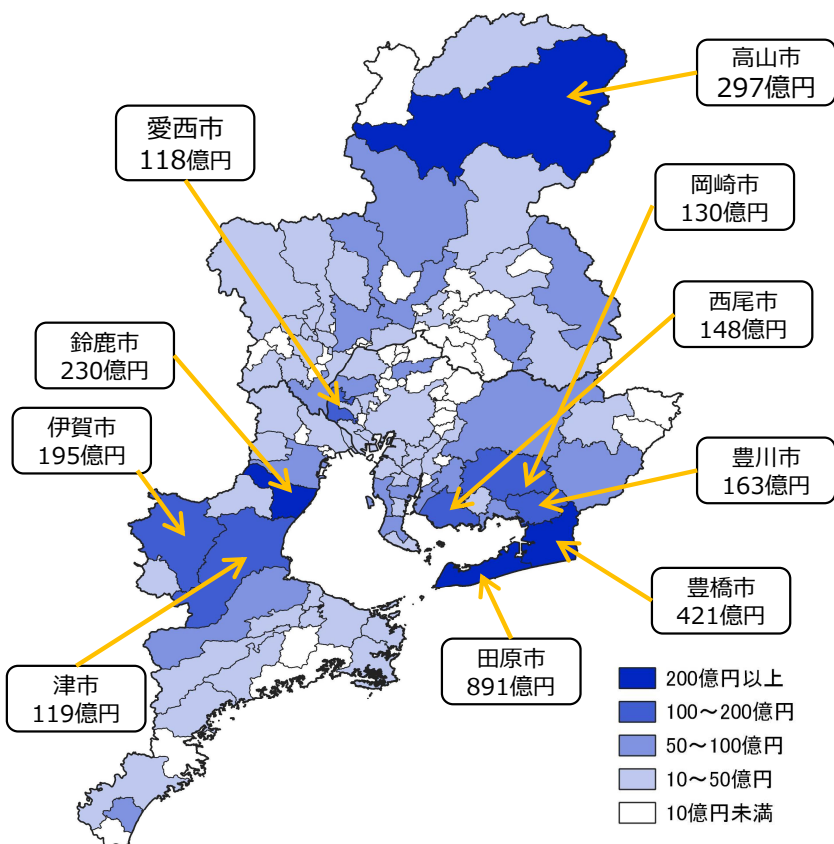
三重 (億円)			
順位	品目	全国順位(5年)	農業産出額
1	鶏卵	11	277
2	米	22	252
3	肉用牛	21	119
4	豚	23	84
5	生乳	21	76
6	茶(生葉)	4	36
7	みかん	12	31
8	トマト	22	29
9	庭園樹苗木	2	29
10	いちご	27	19

資料: 農林水産省「生産農業所得統計」

(3)市町村別の農業産出額

- 東海地方では、田原市が891億円(市町村別全国2位)、豊橋市が421億円(同15位)など、計10市が100億円以上となっています。
- 市町村における農業産出額が最も多い部門は、野菜(47市町村)、米(32市町村)、鶏卵(20市町村)、果実(9市町村)の順となっています。

農業産出額合計



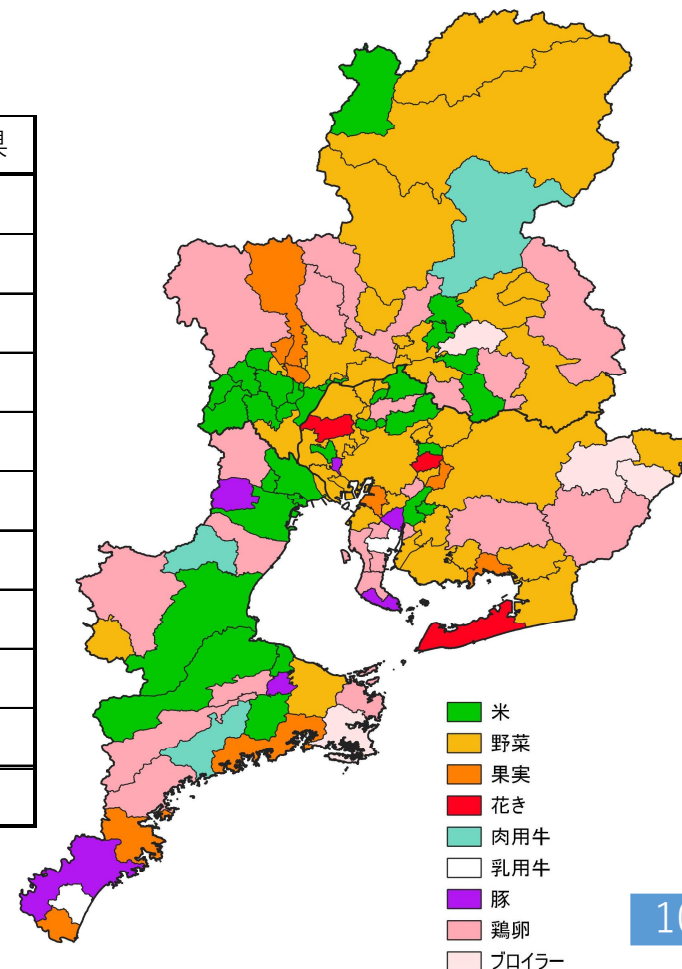
資料:農林水産省「令和5年市町村別農業産出額(推計)(農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果)」

市町村別の農業産出額(令和5年)

農業産出額の最も多い部門別に見た市町村数

部門	岐阜県	愛知県	三重県
米	13	10	9
野菜	18	25	4
果実	3	3	3
花き	—	2	—
工芸作物	—	—	—
肉用牛	1	—	2
乳用牛	1	1	1
豚	—	2	2
鶏卵	5	8	7
ブロイラー	1	3	1
合計	42	54	29

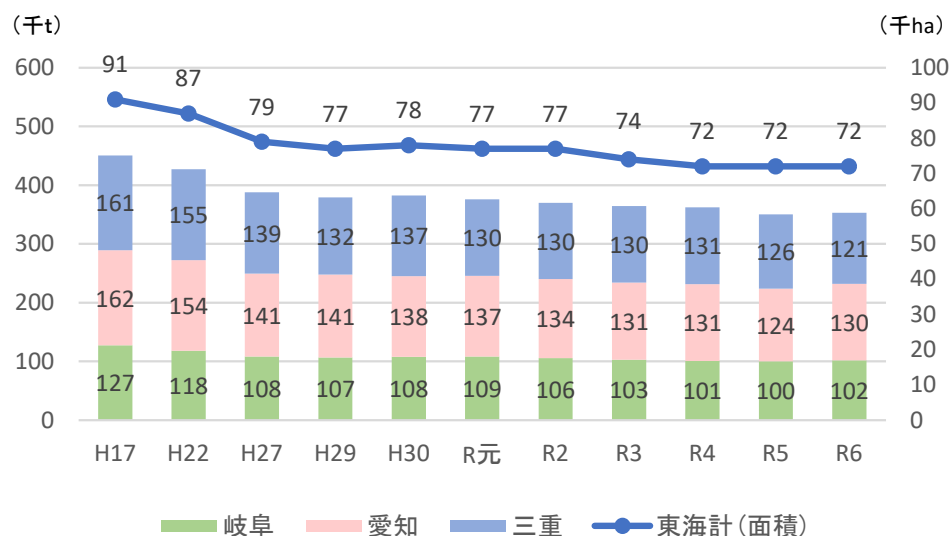
農業産出額が最も多い部門



(4) 品目別の産出額 ①【米】

- 東海地方の米の産出額(701億円)は、東海地方の農業産出額の12.3%、全国の米の産出額の4.6%を占めています。
 - 東海3県における令和6年産水稻においては、作付面積(子実用)は7万2,200haで前年に比べ500ha増、収穫量は35.3万tで前年産に比べ0.3万t増加しました。
- 【岐阜県】収穫量は10.2万tで、ハツシモが最も多く栽培されています。ハツシモは粒が大きいことが特徴で、初霜が降るころまでじっくりと育てられることが名前の由来となっています。
- 【愛知県】収穫量は13.0万tで、あいちのかおりが最も多く栽培されています。あいちのかおりは愛知県で育種され、粒が大きく、食味が良いという特徴があります。
- 【三重県】収穫量は12.1万tで、コシヒカリが最も多く栽培されています。

水稻作付面積及び収穫量の推移



資料：農林水産省「作物統計」

水稻作付面積における主要品種の割合(令和5年産)

【岐阜県】			【愛知県】			【三重県】		
順位	品種名	県内作付面積割合	順位	品種名	県内作付面積割合	順位	品種名	県内作付面積割合
1	ハツシモ	40.9%	1	あいちのかおり	39.6%	1	コシヒカリ	73.3%
2	コシヒカリ	32.0%	2	コシヒカリ	23.5%	2	キヌヒカリ	8.3%
3	ほしじるし	10.2%	3	ミネアサヒ	6.3%	3	みえのゆめ	3.4%

資料：(公社)米穀安定供給確保支援機構調べ

(4) 品目別の産出額 ②【小麦・大豆】

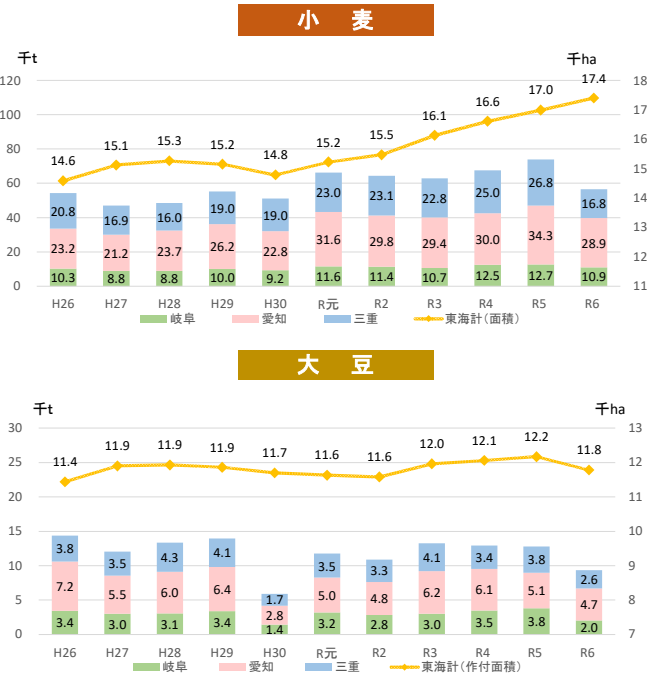
【小麦】

- 東海地方における小麦の産出額(45億円)は、都府県における小麦産出額の7.7%を占めています。
- 作付面積は、近年、増加傾向にあり、令和5年の産出額は、愛知県は全国4位、三重県は全国5位となっています。
- 品種は、三重県の郷土料理「伊勢うどん」の原料として評価の高いあやひかりと、愛知県で育種され、収量性が高く、日本めんに適したきぬあかりが多く作付けされています。

【大豆】

- 東海地方における大豆の産出額(14億円)は、都府県における大豆産出額の3.9%を占めています。
- 作付面積は、近年、横ばいで推移しており、収穫量は年により大きく変動しています。
- 品種は、豆腐や油揚げの原料として評価の高いフクユタカとフクユタカA1号が、ほぼ全てを占めています。愛知県では、令和2年産から、全てのフクユタカを莢がはじけにくく収量ロスの低減が見込まれるフクユタカA1号へ切り替えています。

作付面積と収穫量の推移



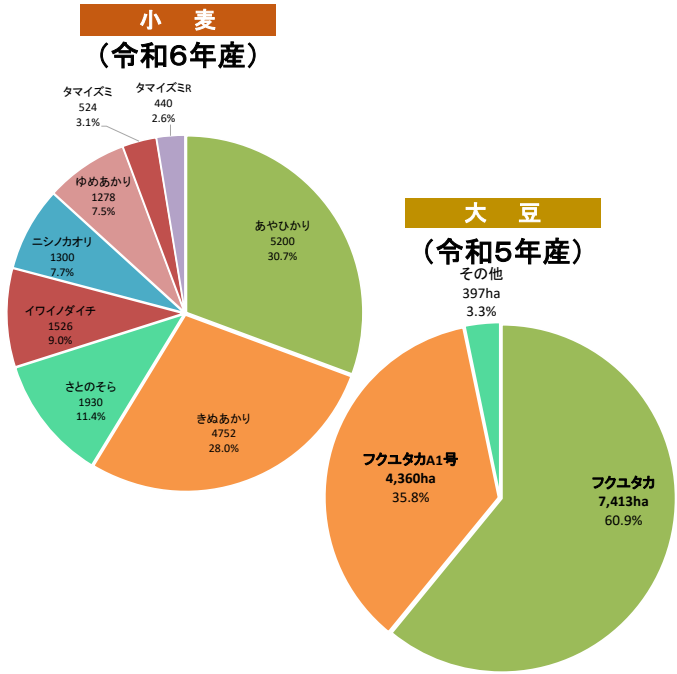
資料：農林水産省「作物統計」

各県の産出額の全国順位 (令和5年)

小麦			大豆		
順位	都道府県	産出額 (億円)	順位	都道府県	産出額 (億円)
1	北海道	399	1	北海道	162
2	福岡県	34	2	宮城県	26
3	佐賀県	22	3	佐賀県	18
4	愛知県	22	⋮	⋮	⋮
5	三重県	16	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	13	愛知県	6
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
10	岐阜県	7	17	三重県	4
⋮	⋮	⋮	18	岐阜県	4
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
全 国		582	全 国		361

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

東海地方で作付けされる品種



資料：農林水産省調べ

(4) 品目別の産出額 ③【野菜】

○ 東海地方における野菜の産出額(1,662億円)は、東海地方の農業産出額の29.5%を占め、愛知県の東三河地区を筆頭に管内で幅広く生産されています。

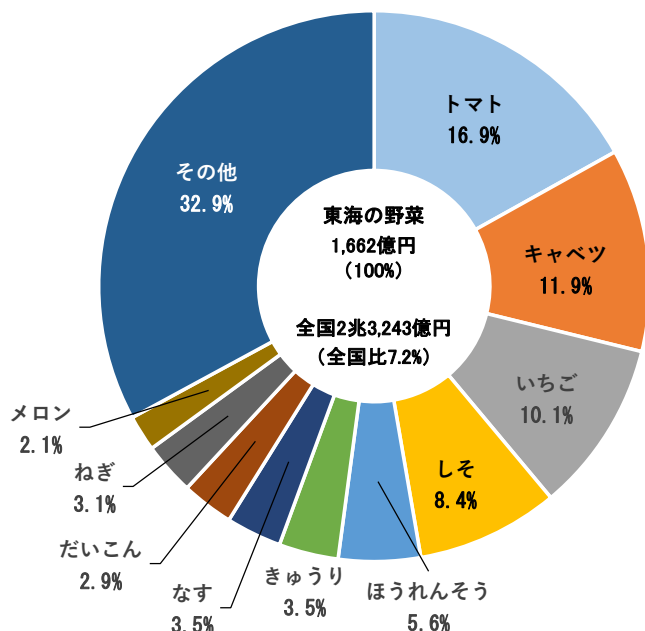
○ 品目別産出額は、トマト、キャベツ、いちご、しそ、ほうれんそうの順となっています。

【岐阜県】岐阜・飛騨地域を中心に生産されるほうれんそうの産出額は全国4位となっています。また、トマトの栽培も盛んで、昭和40年代に全国に先駆け、雨よけ栽培が開始されました。

【愛知県】東三河地域等で生産されるしその産出額は全国1位で、全国の72.0%を占めています。また、キャベツの産出額は全国2位となっています。

【三重県】トマト、いちご、ねぎなど多様な品目が生産されています。

農業産出額構成(令和5年)



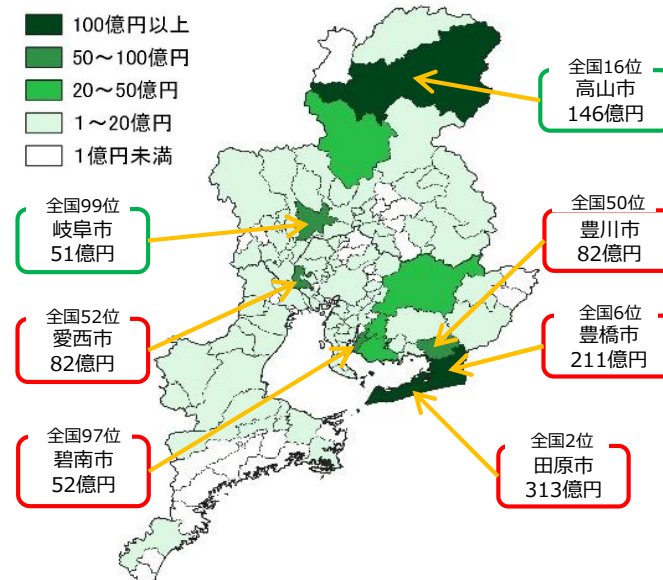
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

東海3県別の野菜産出額上位10品目(令和5年)

【岐阜県】					【愛知県】					【三重県】				
順位	品目	産出額(億円)	全国順位		順位	品目	産出額(億円)	全国順位		順位	品目	産出額(億円)	全国順位	
1	トマト	91	6		1	キャベツ	189	2		1	トマト	29	22	
2	ほうれんそう	59	4		2	トマト	161	3		2	いちご	19	27	
3	いちご	37	14		3	しそ	139	1		3	ねぎ	16	28	
4	だいこん	23	11		4	いちご	112	6		4	キャベツ	6	26	
5	きゅうり	16	25		5	なす	39	5		5	きゅうり	7	39	
6	なす	10	20		6	メロン	32	6		6	なす	5	37	
7	ねぎ	9	38		7	きゅうり	35	11		7	さやえんどう	5	12	
8	えだまめ	7	16		8	ブロッコリー	31	8		8	はくさい	5	17	
9	にんじん	5	13		9	すいか	27	8		9	やまのいも	4	12	
10	こまつな	5	14		10	ねぎ	26	21		10	さといも	4	22	
県計		421	18		県計		1,083	5		県計		158	36	

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

＜市町村別の野菜の産出額の状況(令和5年)＞



資料：農林水産省統計部『市町村別農業産出額(推計)』
注：令和5年の野菜の産出額を金額で色分けしたものです。

(4) 品目別の産出額 ④【果実】

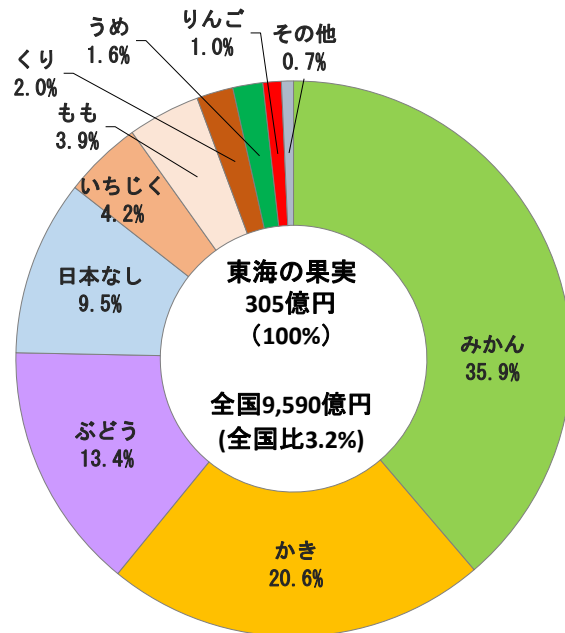
○ 東海地方における果実の産出額(305億円)は、東海地方の農業産出額の5.4%を占め、愛知県、三重県の沿岸部を主産地とするうんしゅうみかんを筆頭に、かき、ぶどう、日本なしなど多様な品目が生産されています。

【岐阜県】岐阜地域等で生産されるかきの産出額は全国4位で、「富有柿」は岐阜県瑞穂市が発祥の地です。また、岐阜・東濃地域等で生産されるくりの産出額は、全国5位となっています。

【愛知県】うんしゅうみかんの産出額は全国7位、ぶどうの産出額は全国11位、西三河地域等で生産されるいちじくの産出額は全国1位となっています。なお、1973年に全国に先駆け蒲郡市で栽培が開始されたハウスみかんの出荷量は3,950t(令和5年度)で、全国2位となっています。

【三重県】うんしゅうみかんの産出額は全国12位で、タイ等への輸出も行われています。

品目別産出額構成(令和5年)

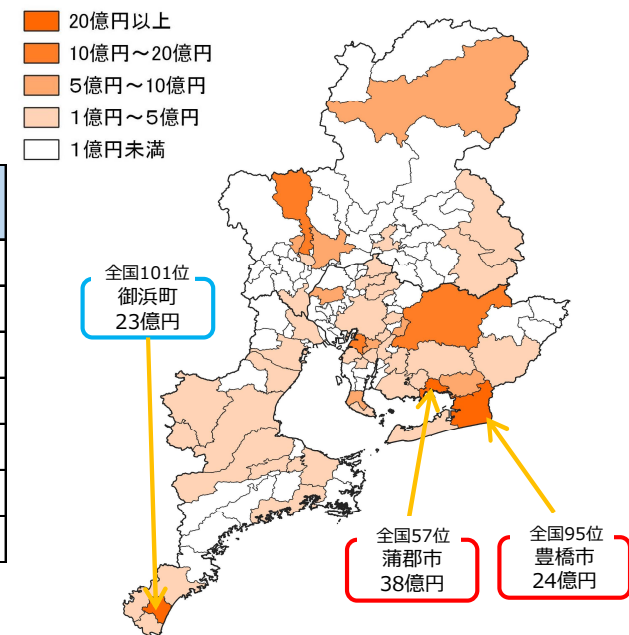


県別農業産出額のうち上位50品目に含まれる果実の産出額(令和5年)

【岐阜県】				【愛知県】				【三重県】			
順位	品目	産出額(億円)	全国順位	順位	品目	産出額(億円)	全国順位	順位	品目	産出額(億円)	全国順位
1	かき	35	4	1	みかん	77	7	1	みかん	31	12
2	くり	6	5	2	ぶどう	31	11	2	日本なし	8	25
3	日本なし	5	27	3	かき	22	6	3	ぶどう	7	33
4	りんご	3	13	4	日本なし	16	15	4	かき	6	17
	ぶどう	3	42	5	いちじく	13	1	5	うめ	5	6
	もも	3	17	6	もも	9	9	6	しらぬい	2	10
県計		60	36	県計		177	5	県計		68	33

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

＜市町村別の果実の産出額の状況(令和5年)＞



資料：農林水産省統計部『市町村別農業産出額(推計)』
注：令和5年の果実の産出額を金額で色分けしたもの。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

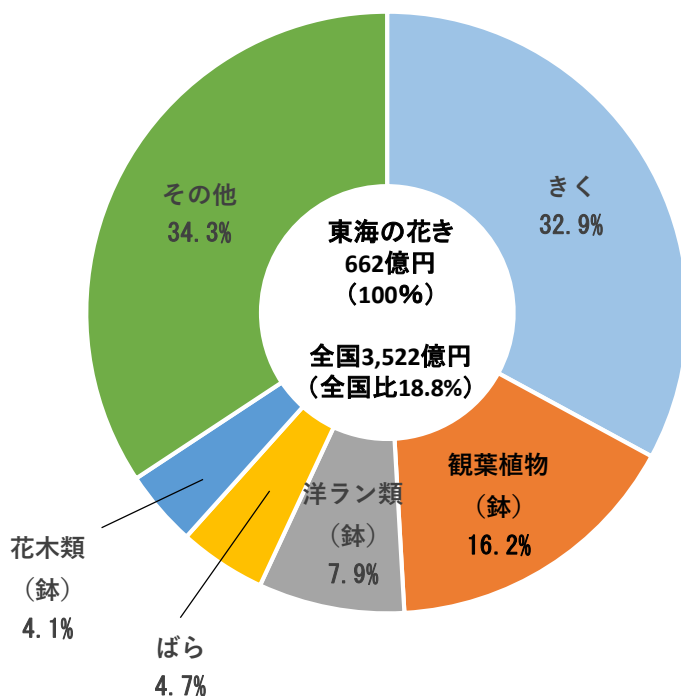
(4) 品目別の産出額 ⑤【花き】

○ 東海地方における花きの産出額(662億円)は、東海地方の農業産出額の11.6%、全国の花き産出額の18.8%を占めています。

【きく】産出額220億円で全国の37.1%を占めています。きくの電照栽培は、愛知県で開発された技術で、主産地の愛知県東三河地区では、電照と遮光技術を使って通年出荷されています。

【観葉植物】観葉植物は産出額107億円で全国の57.2%を占め、国内最大の生産地となっています。

品目別産出額構成(令和5年)



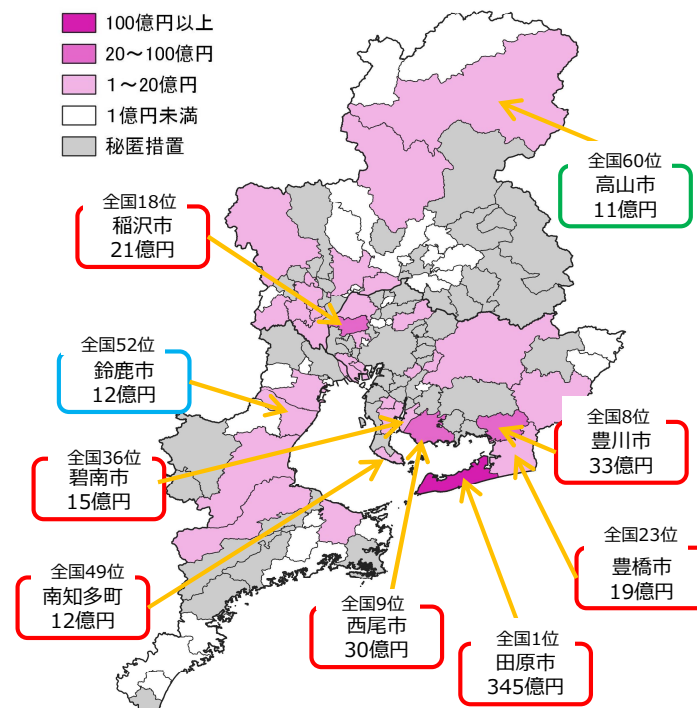
資料: 農林水産省「生産農業所得統計」

東海地方で生産される主な品目の県別産出額と全国順位(令和5年)

品目	岐阜県		愛知県		三重県		東海地方計	全国計	
	産出額(億円)	全国順位	産出額(億円)	全国順位	産出額(億円)	全国順位	産出額(億円)	産出額(億円)	東海地方の占める割合
きく	1	36	218	1	1	33	220	593	37.1%
観葉植物(鉢)	11	5	82	1	14	4	107	187	57.2%
洋ラン類(鉢)	2	24	48	1	2	26	52	352	14.8%
ばら	2	20	27	1	2	19	31	163	19.0%
花木類(鉢)	7	7	20	1	1	16	28	106	26.4%

資料: 農林水産省「生産農業所得統計」

＜市町村別の花きの産出額の状況(令和5年)＞



資料: 農林水産省統計部『市町村別農業産出額(推計)』

注1: 令和5年の花きの産出額を金額で色分けしたもの。

注2: 秘匿措置とは、個人又は法人等に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

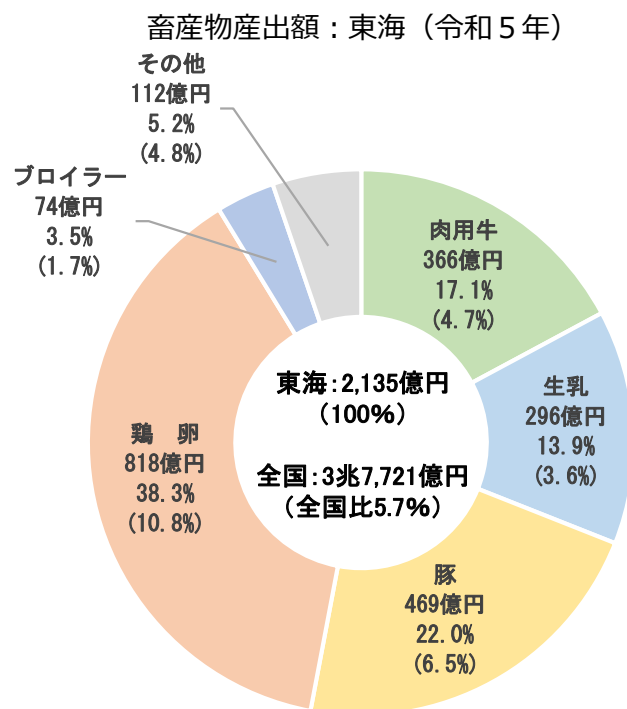
(4) 品目別の産出額 ⑥【畜産】

○ 東海地方の畜産物産出額(2,135億円)は、東海地方の農業産出額の37.9%、全国の畜産物産出額の5.7%を占めています。このうち、鶏卵の産出額は818億円と全国の10.8%を占め、三重県の鈴鹿市、伊賀市、愛知県の小牧市、岡崎市、岐阜県の瑞浪市等が主要産地となっています。

【岐阜県】畜産物産出額は504億円で、県内農業産出額の39.9%。「飛騨牛」は県内統一ブランド牛で、米国、香港等への輸出も積極的に行われています。

【愛知県】畜産物産出額は1,047億円で、鶏卵(353億円)は全国6位、生乳(180億円)は全国8位。日本三大地鶏の「名古屋コーチン」や、全国シェア約6割を占めるうずらの卵の生産も盛んです。

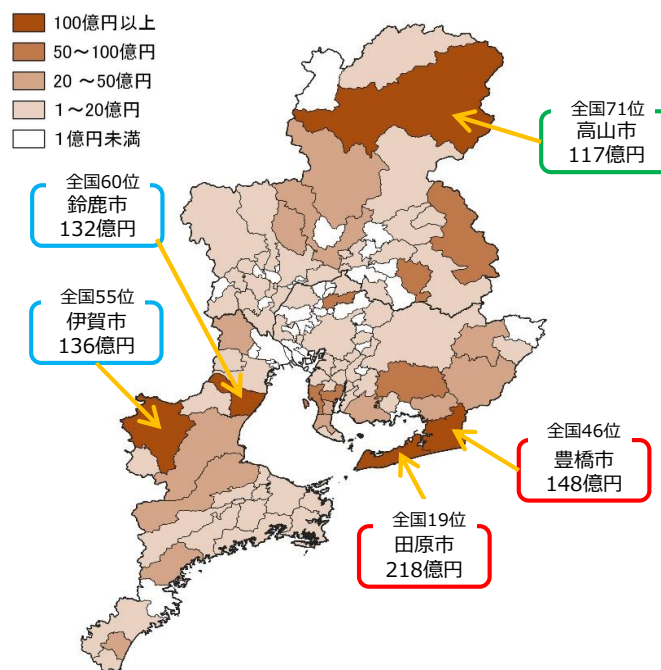
【三重県】畜産物産出額は584億円で、県内農業産出額の47.9%。「松阪牛」、「伊賀牛」はブランド牛として有名です。



※東海の畜種別下段（ ）は、全国に占める割合。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

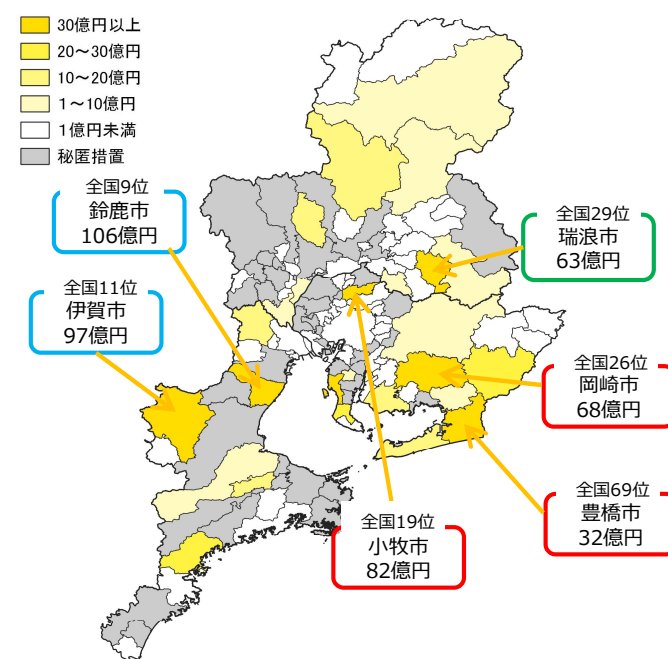
＜市町村別の畜産の産出額の状況(令和5年)＞



資料：農林水産省統計部『市町村別農業産出額（推計）』

注：令和5年の畜産の産出額を金額で色分けしたもの。

＜市町村別の畜産(鶏卵)の産出額の状況(令和5年)＞



資料：農林水産省統計部『市町村別農業産出額（推計）』

注1：令和5年の鶏卵の産出額を金額で色分けしたもの。

注2：秘匿措置とは、個人又は法人等に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

3 各県における主な農林水産物

岐阜県

(42市町村 21市、19町、2村)

中濃地域

飛騨地域

東濃地域

西濃地域

岐阜地域

主な農林水産物

花木類（鉢もの類）

岐阜地域を中心に生産。全国の出荷量の約1割を占める。
(出荷量全国3位)



肉用牛

県内全域で生産。飛騨牛は県内統一のブランド牛。
(飼養頭数全国21位)



くり

岐阜・東濃地域を中心に生産。岐阜県の銘菓「栗きんとん」の原材料に多く使われている。
(収穫量全国4位)



かき

岐阜地域を中心に生産。富有柿は同地域が発祥で、県内のかき栽培面積の約7割を占める。
(収穫量全国4位)



あゆ（養殖）

中濃・西濃・岐阜地域を中心に生産。長良川などでレジャーとしての釣りも盛ん。全国の収穫量の4分の1以上を占める。
(収穫量全国1位)



トマト

飛騨・西濃地域を中心に生産。早くからマルハナバチによる自然交配や化学合成農薬の使用削減に取り組む。
(収穫量全国7位)



えだまめ

岐阜市長良川河畔を中心に生産。おもに京阪神、中京地区に出荷。
(収穫量全国14位)



生しいたけ

飛騨地域を中心に生産。主に菌床しいたけを中心に栽培している。
(生産量全国13位)



茶

西濃・中濃地域を中心に生産。西濃地域の「美濃いび茶」、中濃地域の「美濃白川茶」が二大銘柄。



ほうれんそう

岐阜・飛騨地域を中心に生産。夏は高冷地、冬から春は平坦地において、通年生産されている。
(収穫量全国6位)

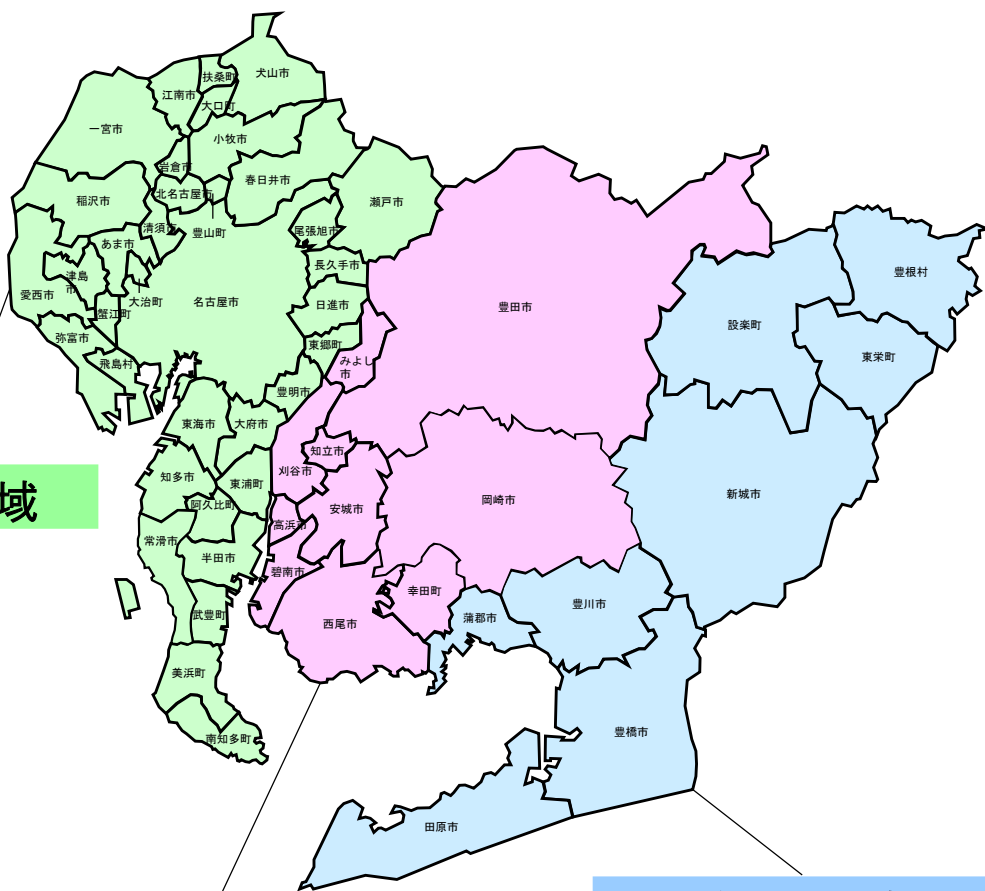


資料：農林水産省「作物統計」、「畜産統計」、「特用林産基礎資料」、「漁業・養殖業生産統計」

注：順位は、統計数値が公表されている都道府県の順位

愛知県

(54市町村 38市、14町、2村)



尾張地域

東三河地域

西三河地域

主な農林水産物

観葉植物(鉢もの類)

県南部を中心に昭和30年代から本格的な生産が始まる。出荷量は全国の約5割を占める。(出荷量全国1位)



きく(切り花類)

全国の約4割の出荷量を誇る大産地。電照と遮光技術を活用し通年出荷。(出荷量全国1位)



キャベツ

東三河地域を中心に生産。温暖な気候や用水が整備された立地条件を生かし、全国の出荷量の約2割を占める。(出荷量全国1位)



しそ

東三河地域を中心に栽培。施設栽培により周年生産される。出荷量は全国の約5割を占める。(出荷量全国1位)



洋ラン類(鉢もの類)

県南部を中心にコチョウラン、シンビジウム、デンドロビウムなど多くの種類を栽培。全国の出荷量の約2割を占める。(出荷量全国1位)



名古屋コーチン

日本三大地鶏の1つ。全国の地鶏の中で唯一純粋種として供給され、その知名度、品質から「地鶏の王様」として、高い評価を受けている。



イチジク

西三河地域を中心に県内各地で生産。出荷量は全国の約2割を占める。(出荷量全国2位)



うなぎ(養殖)

西三河地域を中心に東三河地域でも生産。収穫量は全国の約2割を占める。(収穫量全国2位)



あさり類

伊勢湾、三河湾沿岸で漁獲。漁獲量は全国の約5割を占める。(漁獲量全国1位)



ふき

知多半島を中心に栽培。独自の栽培技術により10月から翌年5月まで長期間の出荷が可能。(出荷量全国1位)



資料：農林水産省「作物統計」、「地域特産野菜生産状況調査」、
「特産果樹生産動態等調査」、「生産農業所得統計」、「漁業・養殖業生産統計」
注：順位は、統計数値が公表されている都道府県の順位

三重県

(29市町村 14市、15町)

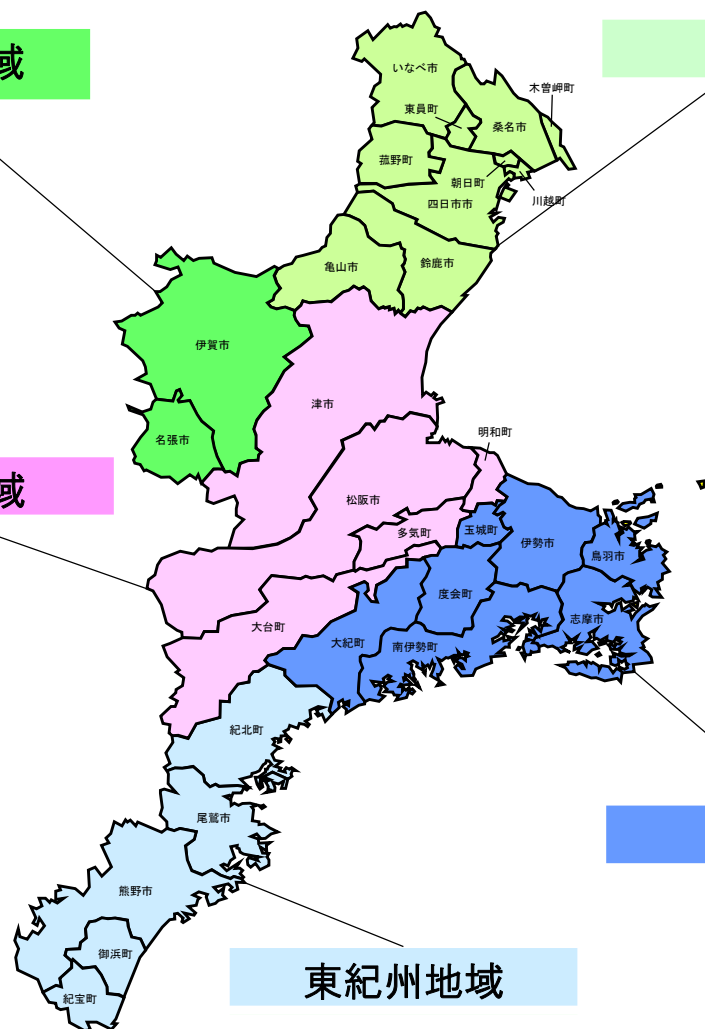
伊賀地域

北勢地域

中勢地域

南勢地域

東紀州地域



主な農林水産物

なばな

北勢地域を中心に生産。主に葉茎を食用とする。収穫量は全国の約3割を占める。
(収穫量全国1位)



肉用牛

北勢・中勢・南勢・伊賀地域を中心に生産。松阪牛・伊賀牛はブランド牛として有名。
(飼養頭数全国23位)



サツキ

北勢地域を中心に生産。出荷量は長年にわたり全国一を誇っており、全国の約6割を占める。
(出荷量全国1位)



みかん

東紀州・南勢地域を中心に生産。特に御浜町(みはまちょう)は柑橘類が通年収穫できる町として有名。
(収穫量全国9位)



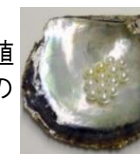
小麦

北勢・中勢・南勢を中心に生産。「伊勢うどん」の原料粉として評価が高い「あやひかり」が有名。
(収穫量全国8位)



真珠(養殖)

真珠養殖発祥の地。南勢地域を中心に養殖され、収穫量は全国の約2割を占める。
(収穫量全国3位)



茶

北勢・南勢地域を中心に生産。かぶせ茶の生産は有名。荒茶の生産量は全国の約1割を占める。
(荒茶生産量全国3位)



ばらのり(養殖)

南勢地域を中心に養殖。収穫量は全国の約6割を占める。
(収穫量全国1位)



かたくちいわし

北勢・中勢・南勢地域の伊勢湾を主な漁場とする。
(漁獲量全国7位)



いせえび

南勢地域を中心に漁獲。漁獲量は全国の約1割を占める。
(漁獲量全国2位)



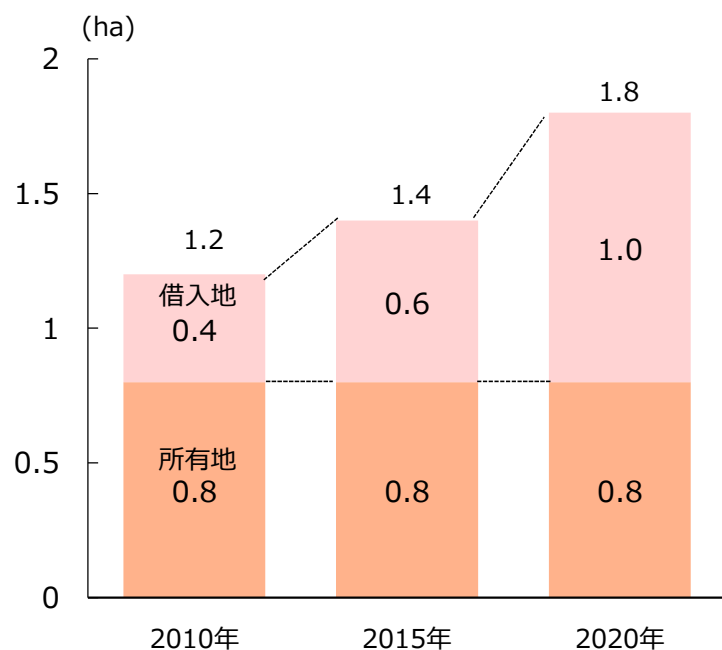
資料：農林水産省「作物統計」、「地域特産野菜生産状況調査」、「畜産統計」、「漁業・養殖業生産統計」

注：順位は、統計数値が公表されている都道府県の順位

4 東海地方の農業構造（1）1経営体当たりの経営耕地面積

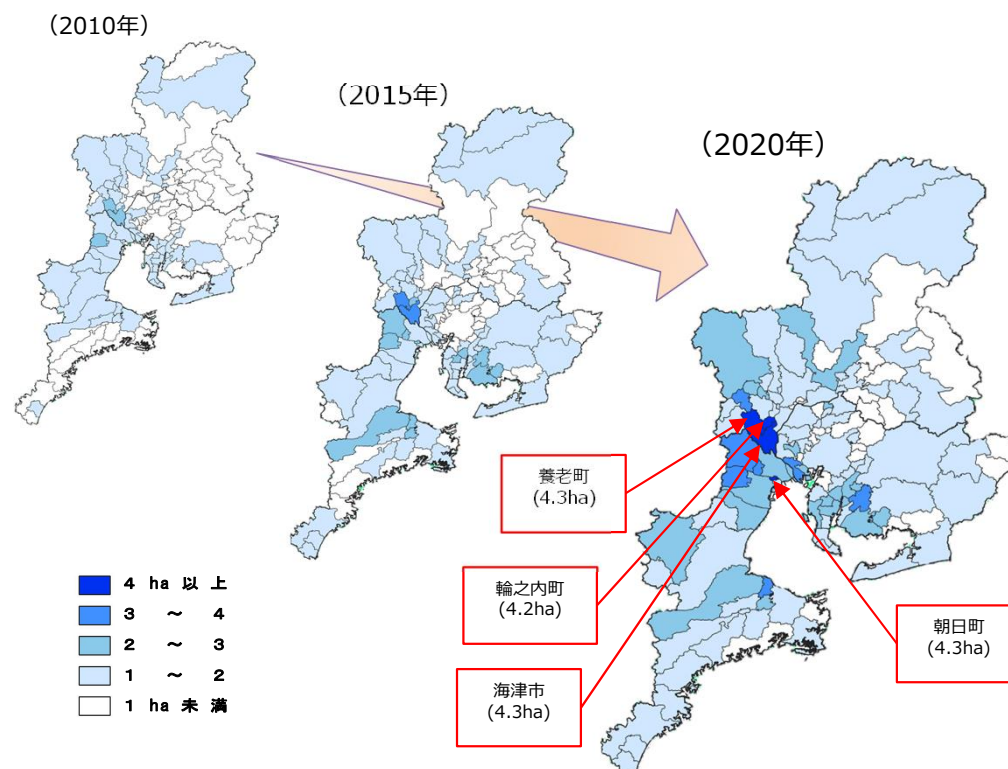
- 東海地方の1経営体当たりの経営耕地面積は1.8ha。都府県平均(2.2ha)の81.8%の水準ですが、借入地の増大により10年前の1.5倍に増大しています。
- 市町村別にみると長良川下流域の水田地帯では4haを超えており、また、10年前と比較して2haを超える地域も増大しています。

図1 1経営体当たり経営耕地面積の推移
(東海3県)



資料：農林水産省「農林業センサス」

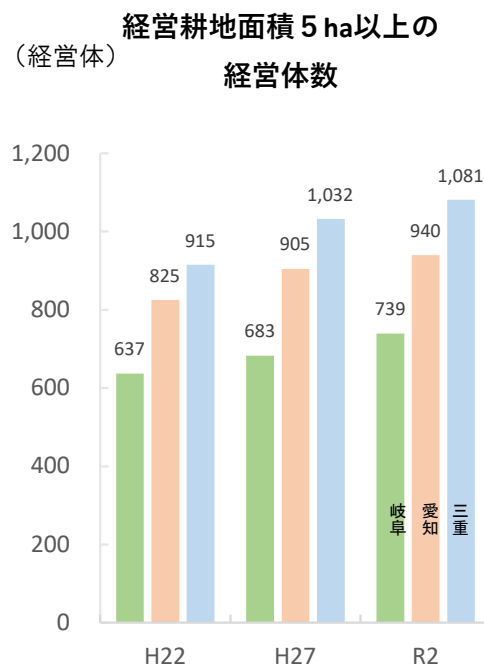
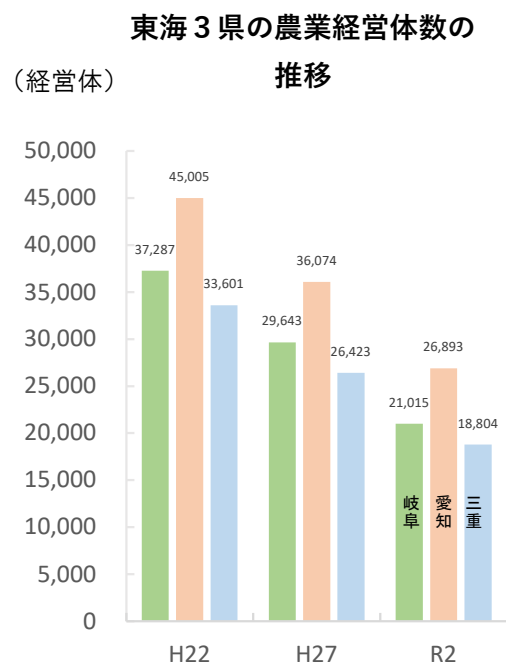
図2 市町村別の1経営体当たり経営耕地面積の推移
(東海3県)



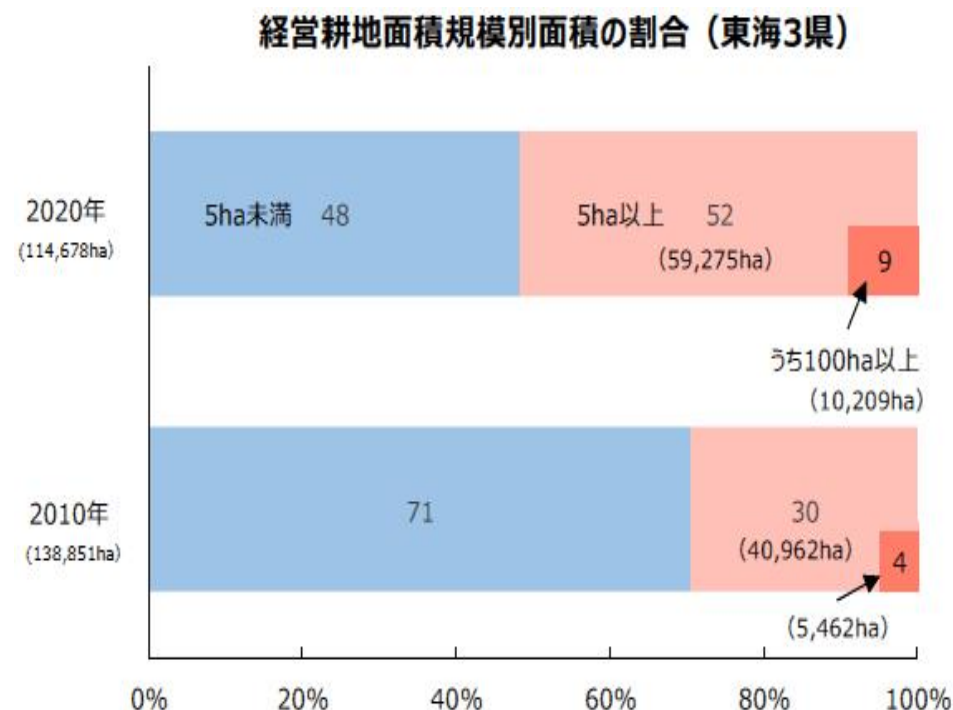
資料：農林水産省「農林業センサス」

(2) 経営耕地面積5ha以上の経営体の動向①

- 東海3県の農業経営体数の推移は、平成22年と比較すると減少傾向にあります。一方で経営耕地面積が5ha以上の経営体数は増加しています。
- 東海3県の経営耕地面積5ha以上の経営体の経営耕地面積が占める割合をみると、平成22年は全体の30%であったのに対し、令和2年は50%以上を占めるまで拡大しています。



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」



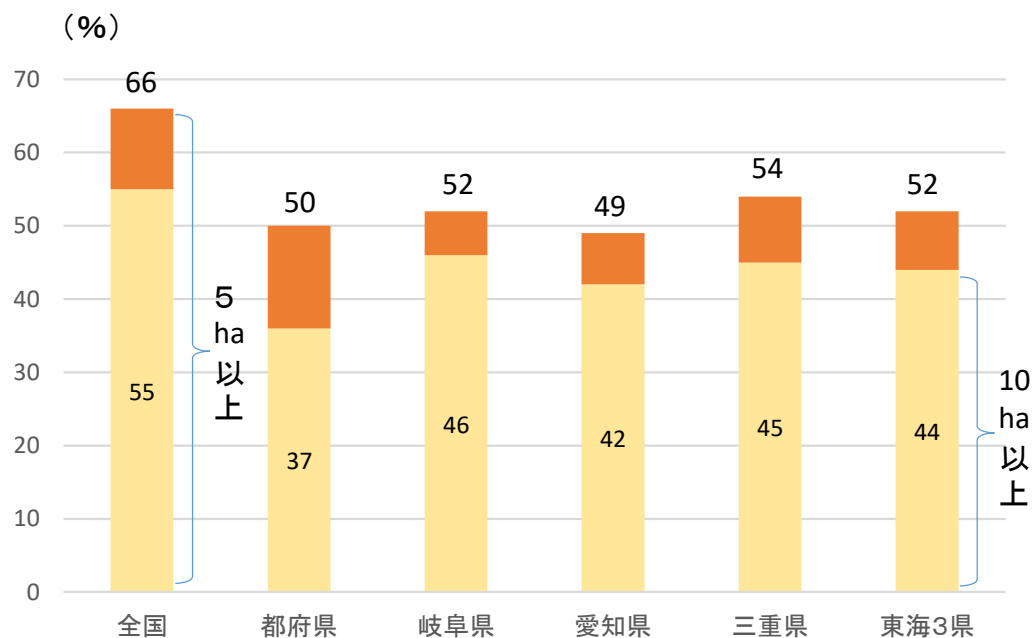
注：ラウンドにより計と内訳が一致しない場合がある。

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

(2) 経営耕地面積5ha以上の経営体の動向②

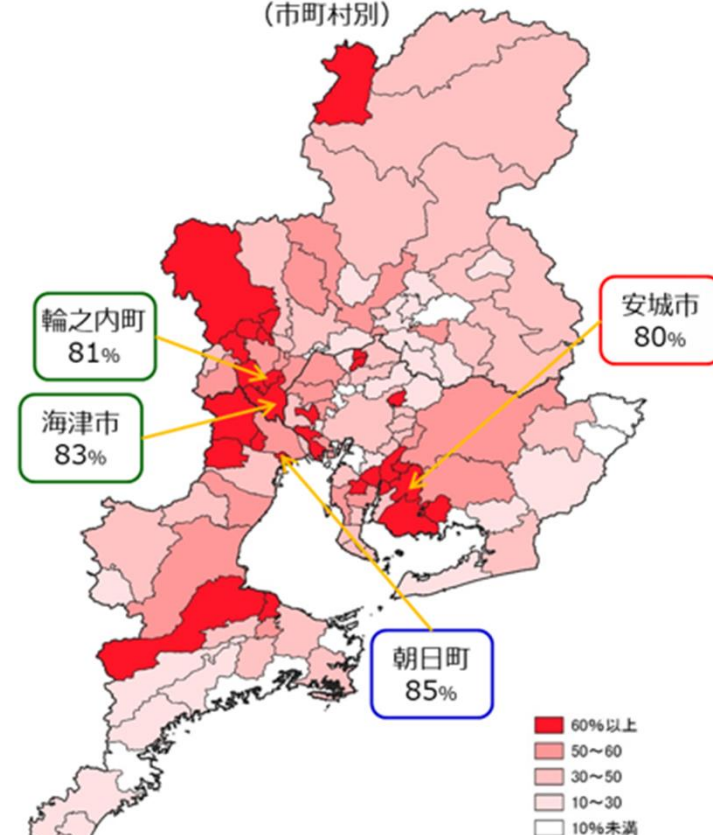
- 5ha以上耕作する農業経営体の面積集積割合では、東海3県とも都府県平均とほぼ同水準ですが10ha以上についてみると、3県とも都府県平均を上回っています。
- 市町村の状況をみると、三重県朝日町が最も集積割合が高く、次いで岐阜県海津市、輪之内町、愛知県安城市の順となっています。

5ha及び10ha以上耕作する農業経営体の面積集積割合



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

< 5 ha以上耕作する農業経営体の面積集積割合 >
(市町村別)

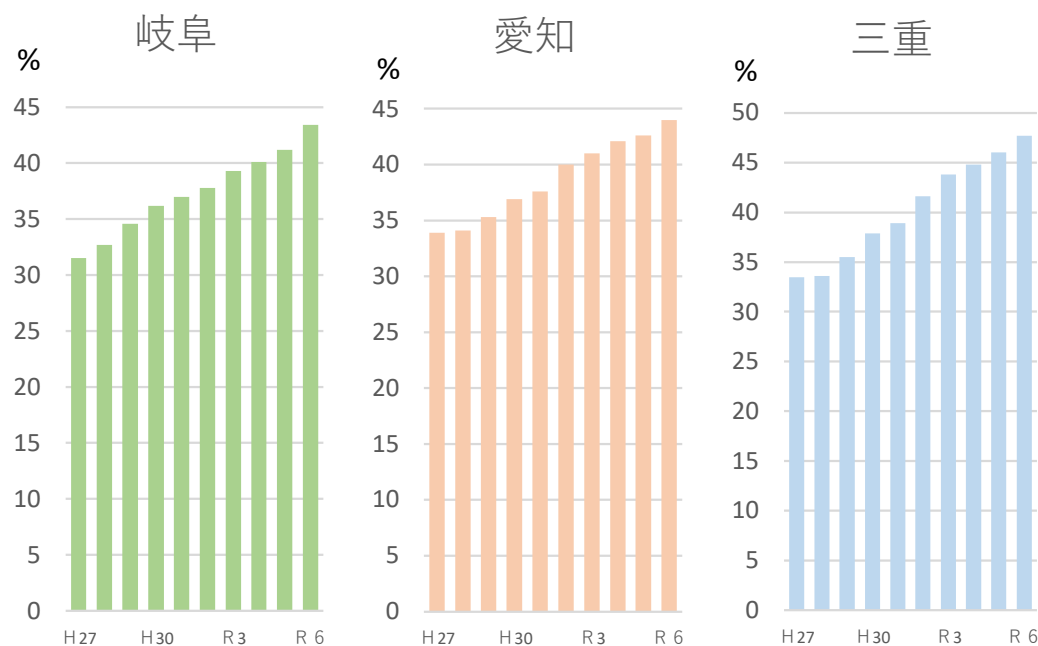


資料：農林水産省『農林業センサス』

(3) 中間管理機構の利用実績

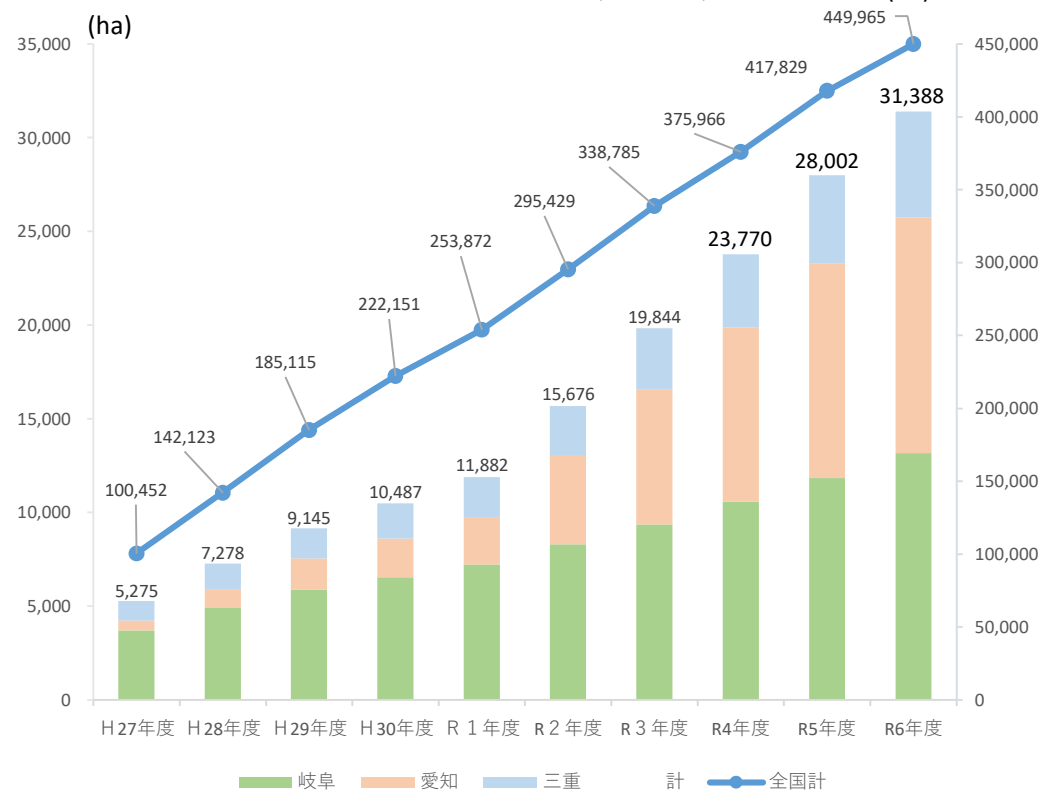
- 東海3県の担い手への農地集積の割合は年々、増加傾向にあります。
- 農地バンク(農地中間管理機構)を創設した平成26年以降、全国の農地バンクの取扱実績も年々増加傾向にあります。東海3県においても平成26年は1,072haだった転貸面積が令和6年度には31,388haと大幅に増加しています。

県別の担い手への農地集積率



資料：農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」

農地バンクの取扱実績（転貸面積）

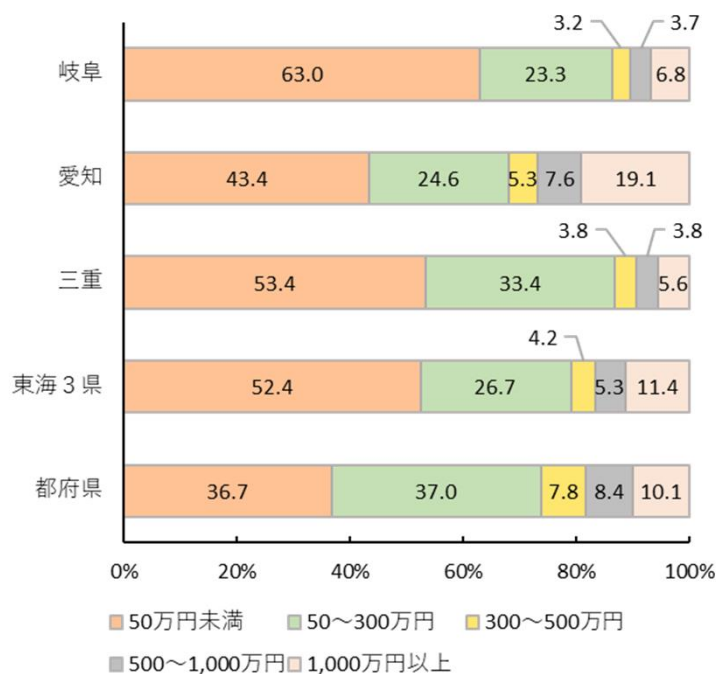


資料：農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」

(4) 販売規模別農業経営体の状況

- 東海3県の農産物販売金額規模別農業経営体数の構成割合において、各県とも50万円未満の階層が最も多いものの、愛知県では、1,000万円以上の階層が19%と都府県平均の倍近い水準となっています。
- 1,000万円以上の階層が多い市町村は、総じて、市町村の農業産出額(6頁の図参照)も大きく、50歳未満の基幹的農業従事者数も多くなっています。

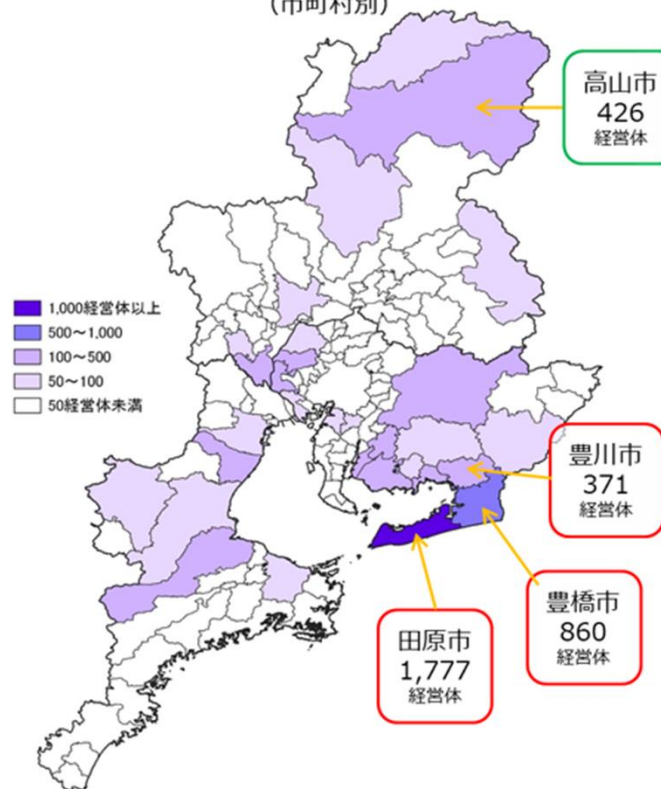
農産物販売金額規模別農業経営体数の構成割合



資料:農林水産省「2020年農林業センサス」

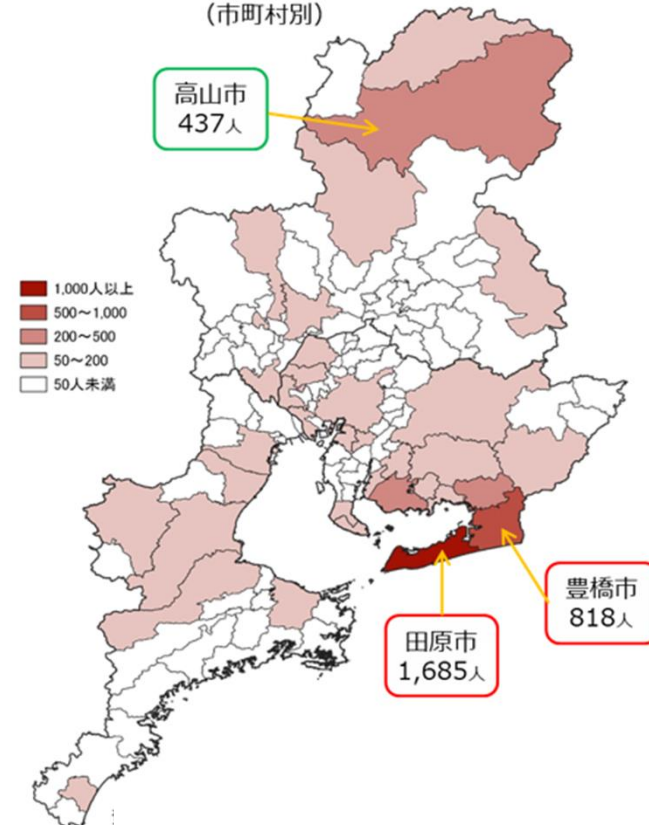
注:50万円未満には販売なしの農業経営体も含む。

<販売金額が1,000万円以上の農業経営体数>
(市町村別)



資料:農林水産省「2020年農林業センサス」

<50歳未満の基幹的農業従事者数>
(市町村別)

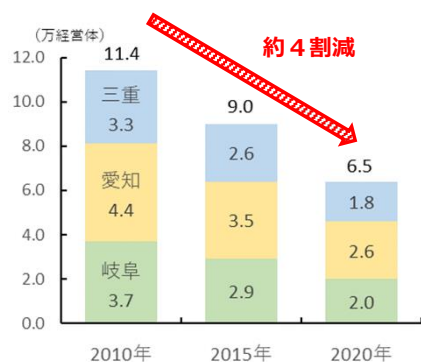


資料:農林水産省「2020年農林業センサス」

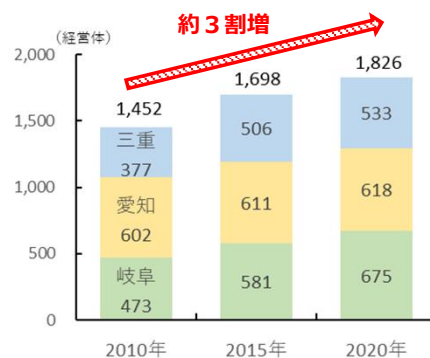
(5) 法人経営体の動向

- 東海3県の農業経営体は、全国の傾向と同様に、農業者の高齢化などの理由により、個人経営体の減少が進んでいますが、法人経営体は10年で約3割増加しています。
 - この中で、100ha以上の大規模経営を行う経営体は全ての農業経営体が経営する面積の8.9%を占め、都府県平均の約2倍となっています。
- 特に、100ha以上の大規模経営体の経営耕地面積の86.7%は法人による経営であり、法人経営体の増加が規模拡大の下支えとなっています。

個人経営体数の推移（東海3県）



法人経営体数の推移（東海3県）



100ha以上の大規模経営体の経営耕地面積
（法人経営体が占める割合）（東海3県）

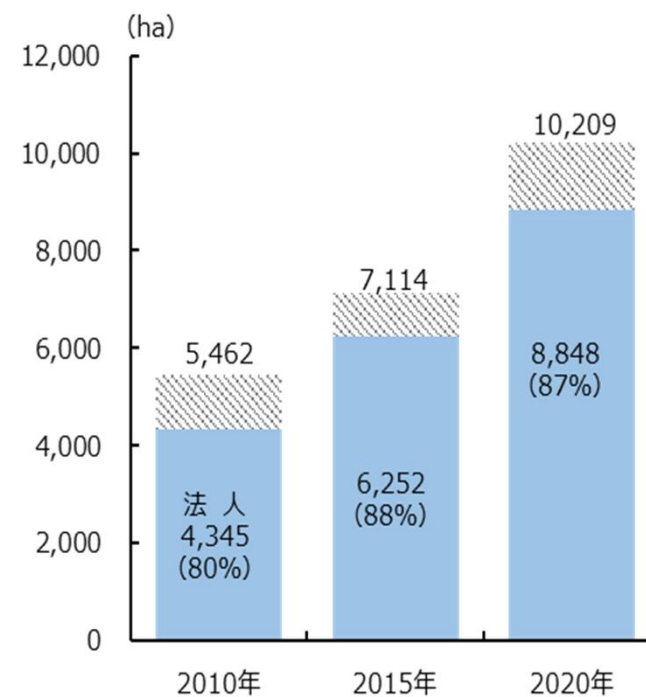


表 農業経営体が経営する経営耕地面積（2020年農林業センサス結果）

単位：ha、%

	都府県	東海 3 県	岐阜	愛知	三重
経営耕地面積計	2,204,461	114,678	31,765	43,258	39,656
うち、100ha以上の経営体の経営 耕地面積	101,630	10,209	2,924	4,275	3,010
うち、法人経営体の経営 耕地面積	81,145	8,848	2,536	4,043	2,269
うち、100ha以上の経営体の経営 耕地面積割合	4.6	8.9	9.2	9.9	7.6
うち、法人経営体の経営 耕地面積割合	79.8	86.7	86.7	94.6	75.4

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

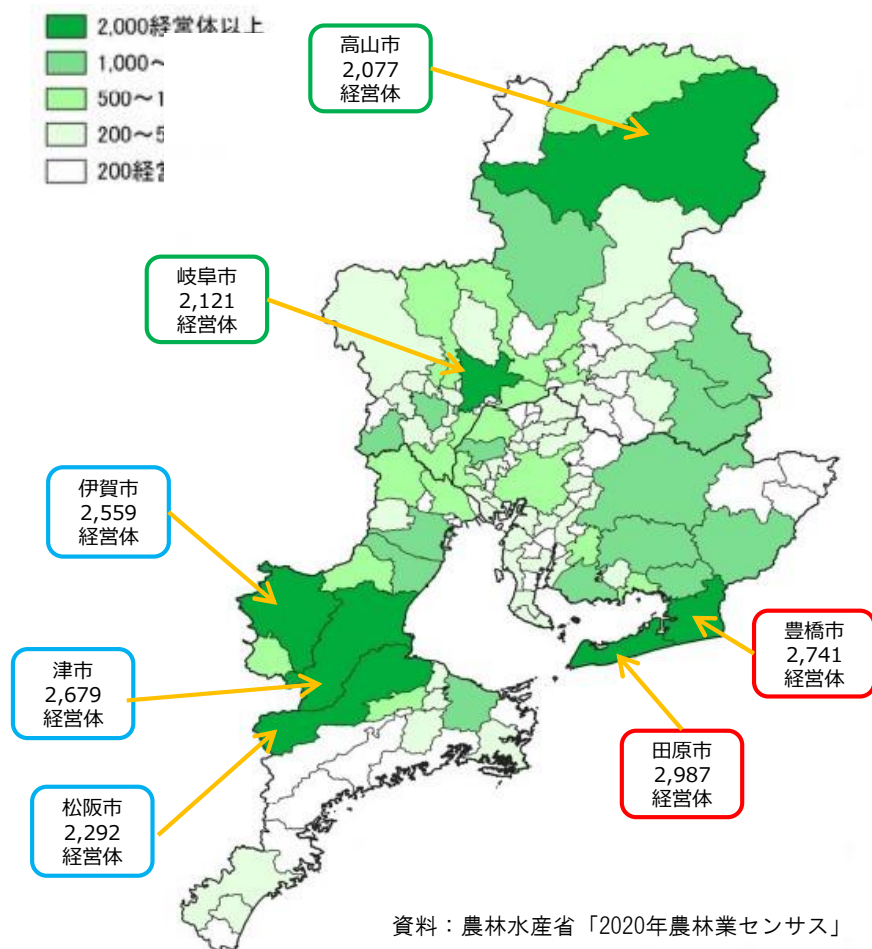
資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

(6)市町村別の農業経営体数

- 東海3県で農業経営体が最も多い市町村は、愛知県田原市で2,987経営体、次いで愛知県豊橋市、三重県津市、伊賀市、松阪市、岐阜県岐阜市、高山市の順となっています。

東海3県の市町村別農業経営体数

＜農業経営体数＞
(市町村別)



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

＜県別の農業経営体数（上位5市）＞

順位	岐 阜 県				
	市町村名	農業 経営体	個人 経営体	団体 経営体	法人 経営
1	岐阜市	2,121	2,070	51	42
2	高山市	2,077	1,975	102	93
3	中津川市	1,808	1,752	56	44
4	恵那市	1,421	1,377	44	31
5	郡上市	1,287	1,243	44	34

順位	愛 知 県				
	市町村名	農業 経営体	個人 経営体	団体 経営体	法人 経営
1	田原市	2,987	2,892	95	89
2	豊橋市	2,741	2,661	80	77
3	豊田市	1,994	1,944	50	43
4	豊川市	1,685	1,648	37	36
5	新城市	1,261	1,244	17	15

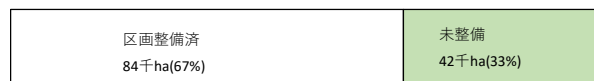
順位	三 重 県				
	市町村名	農業 経営体	個人 経営体	団体 経営体	法人 経営
1	津市	2,679	2,587	92	69
2	伊賀市	2,559	2,434	125	76
3	松阪市	2,292	2,217	75	63
4	鈴鹿市	1,727	1,642	85	80
5	四日市市	1,404	1,360	44	34

(7)水田・畑整備の状況

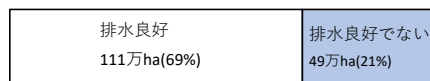
- 東海3県の水田は、全国平均と同様、67%(84千ha)は区画整備済みとなっており、そのうち72%(60千ha)が排水良好な汎用化水田となっています。
- 水田の30a程度以上区画整備済の割合は、愛知県(73.5%)、三重県(72.2%)が全国(68.7%)を上回り、50a以上の割合は愛知県(12.1%)が全国(12.3%)と同様です。
- 畑の畑地かんがい施設整備済の割合は、愛知用水や豊川用水等を有する愛知県(62.1%)が、全国(25.9%)を大きく上回っています。

水田整備の状況（令和5年度実績）

東海計 水田面積 126千ha(全国の5.4%)



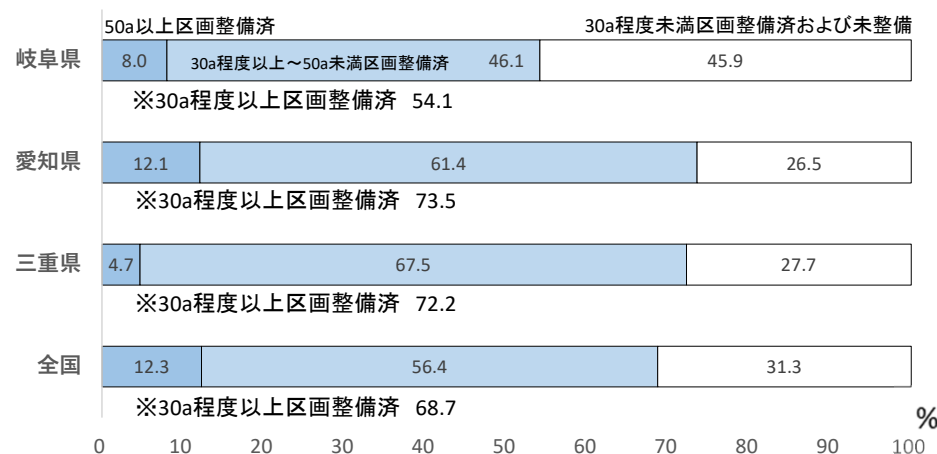
全国 水田面積 233万ha



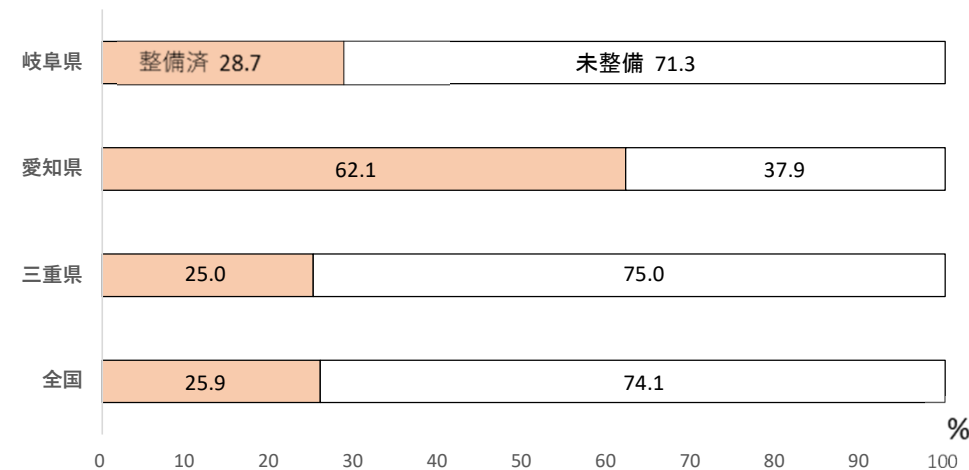
注1)排水良好とは、概ね4時間雨量4時間排除の地表排水を有し、かつ地下排水条件の良好(地下水位70cm以深)な水田をいう。
注2)四捨五入を行っているため、合計と内訳の積み上げが一致しない場合がある。

資料:東海農政局調べ

水田の区画整備済割合（令和5年）



畑の畑地かんがい施設整備済割合（令和5年）

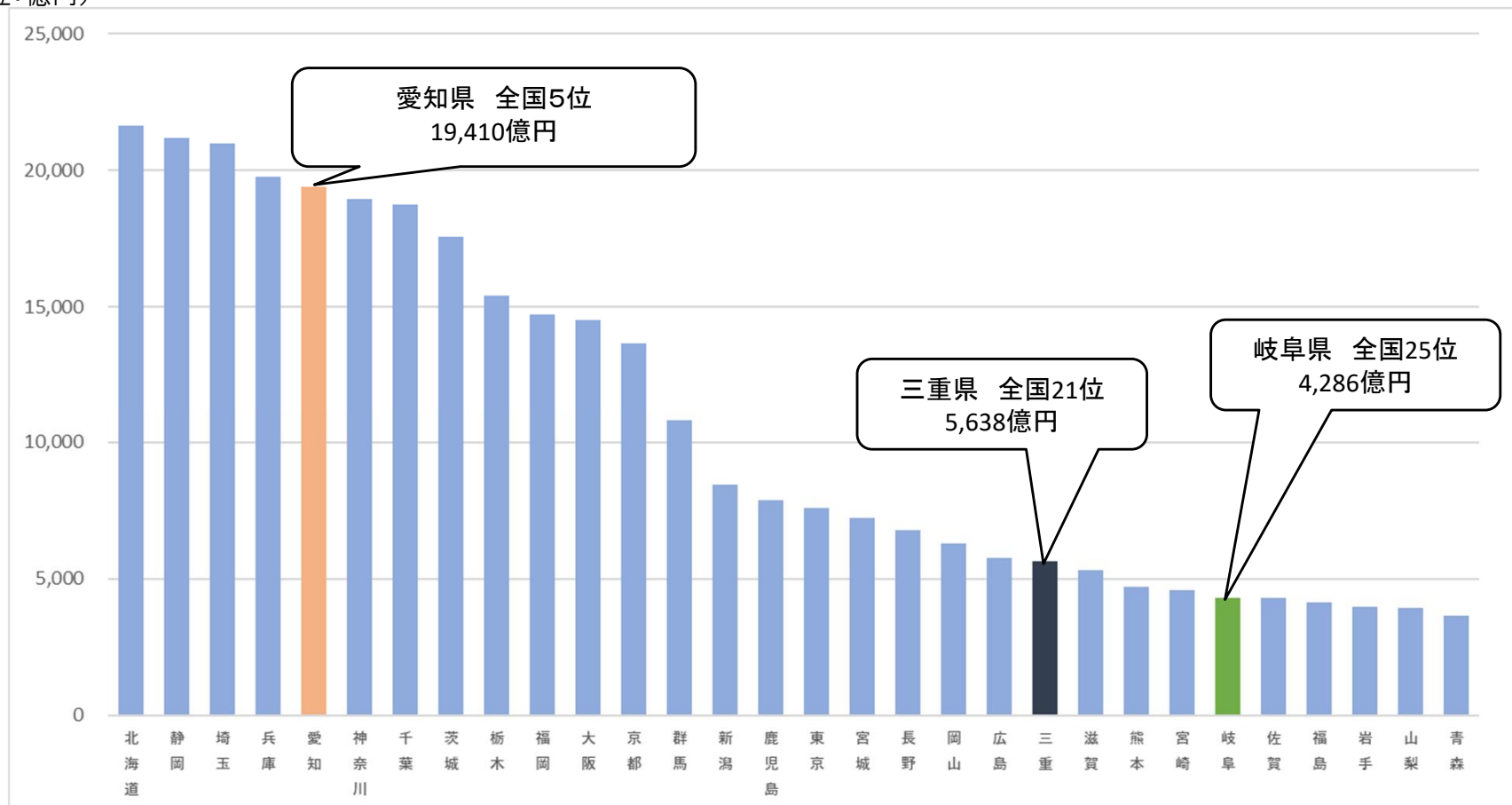


5 東海地方の食品産業

- 東海では、生菓子、パン、めん類などの食品製造業も盛んであり、出荷額は約3兆円で全国に占める割合は8.7%となっています。特に愛知県は、全国5位となっています。

飲食料品製造業における製造品出荷額 (令和2年1月～12月)

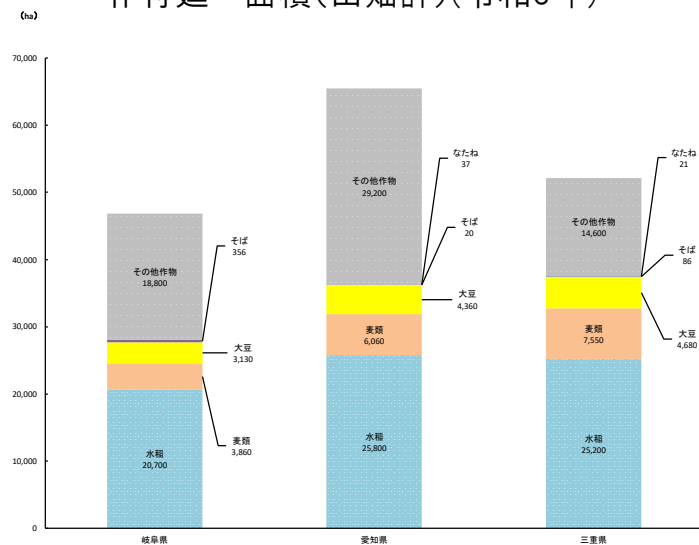
(単位:億円)



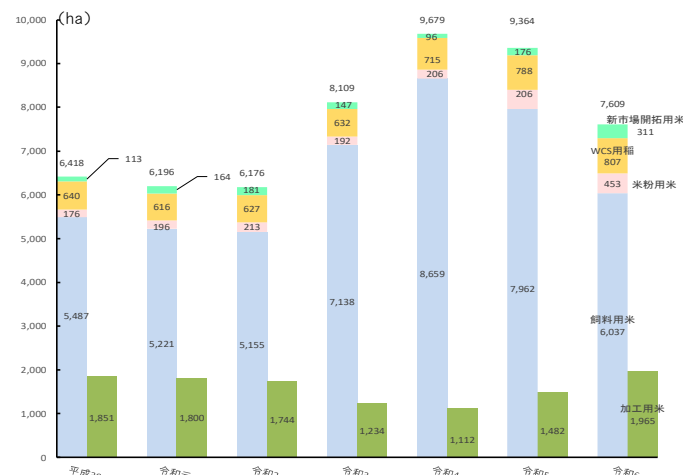
資料：経済産業省「工業統計」

【参考資料】農畜産物の生産状況

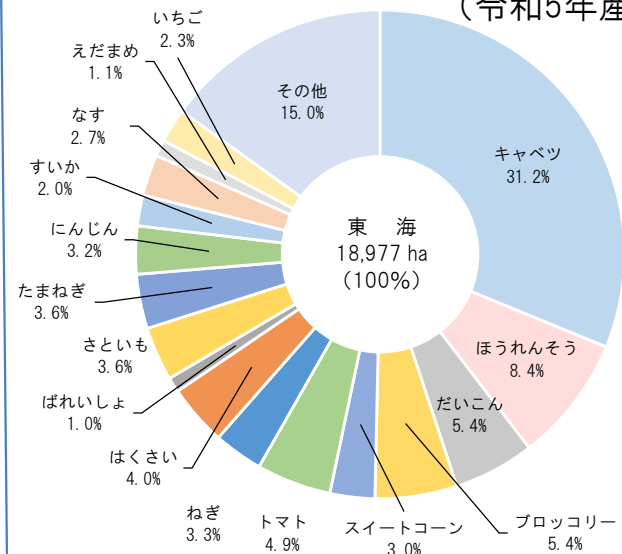
作付延べ面積(田畑計)(令和5年)



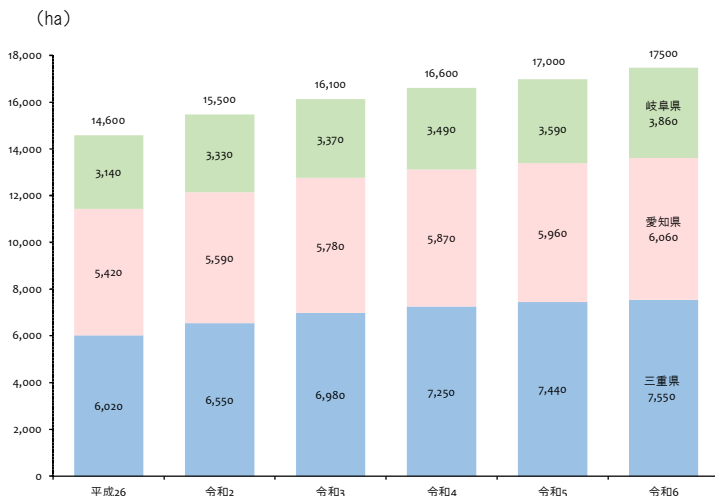
新規需要米・加工用米取組認定作付面積の推移(東海計)



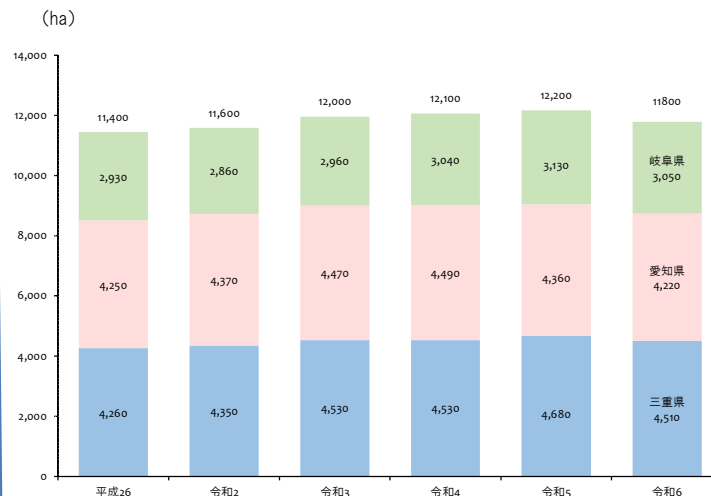
主要野菜の品目別作付面積割合 (令和5年産)



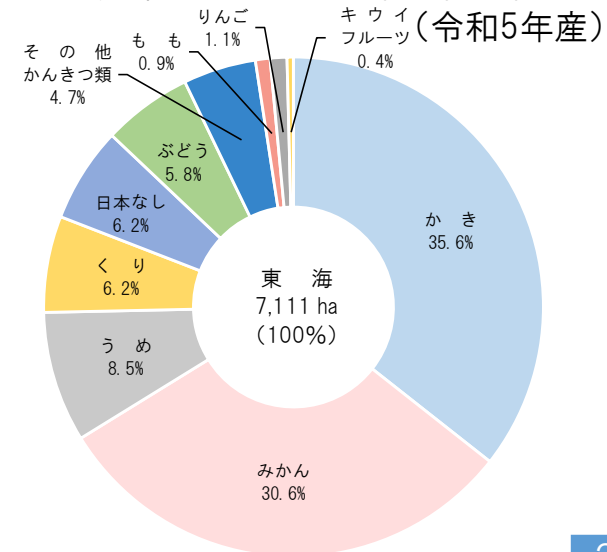
小麦作付面積の推移



大豆作付面積の推移

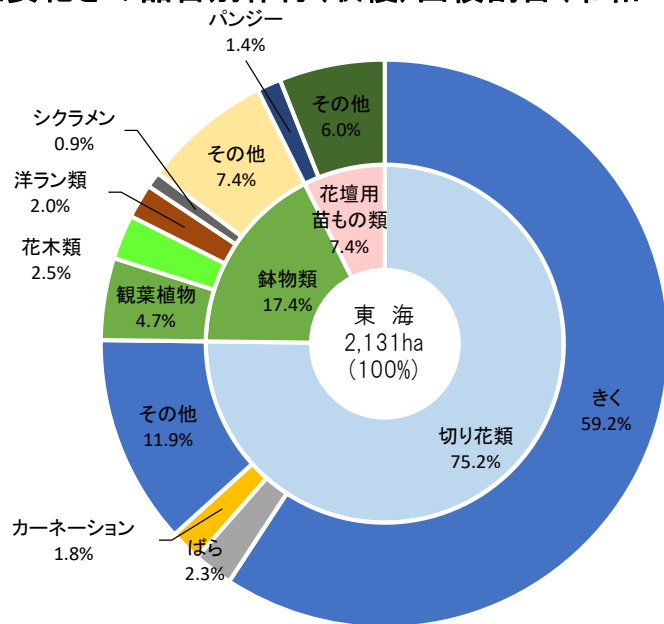


主要果樹の品目別栽培面積割合 (令和5年産)

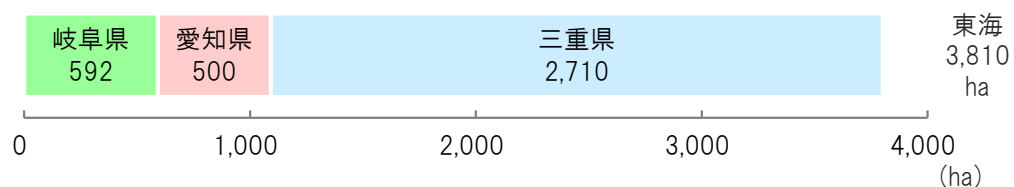


農畜産物の生産状況

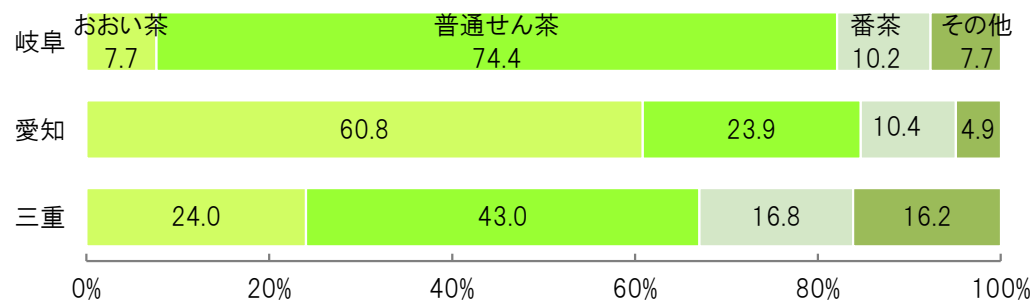
主要花きの品目別作付(収穫)面積割合(令和5年産)



茶栽培面積(令和2年産)

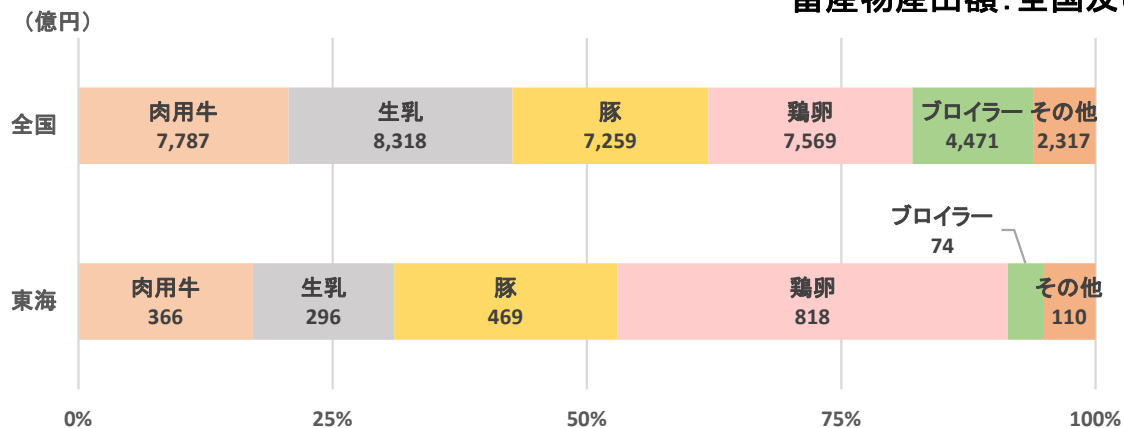


荒茶生産量割合



注：岐阜県は平成26年産、愛知県・三重県は平成28年産

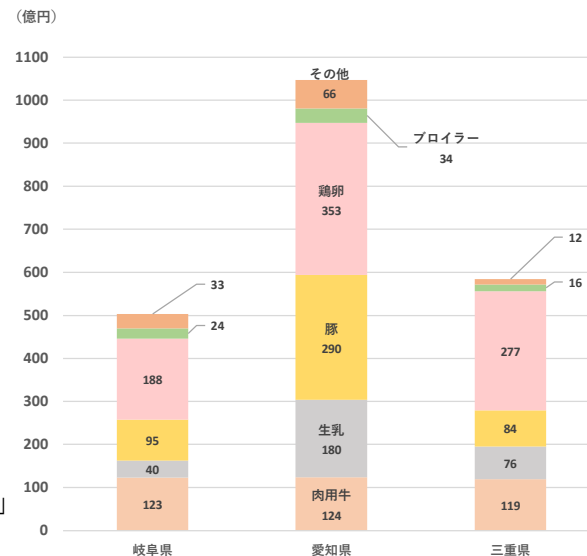
畜産物産出額:全国及び東海(令和5年)



資料：農林水産省「作物統計」、「新規需要米の取組計画認定状況」、「加工用米の取組計画認定状況」、「畜産統計」、「生産農業所得統計」

注1：円グラフにおける東海の面積は各品目別の面積を積み上げた数値

注2：四捨五入により計が一致しない場合がある



東海農業の基本指標

土地（令和5年）

区 分	総土地 面積	耕 地 面 積		耕地率	水田率
		田	畑		
	(km ²)	(ha)	(ha)	(%)	(%)
全 国	377,976	2,335,000	1,962,000	11.4	54.3
東 海 3 県	21,569	125,800	57,600	8.5	68.6
岐 阜 県	10,621	41,700	12,800	5.1	76.5
愛 知 県	5,173	41,000	31,500	14.0	56.5
三 重 県	5,774	43,100	13,300	9.8	76.4

資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」等

農地中間管理機構の実績等（令和6年度）

区 分	担い手への集積 面積		過去1年 間の集積 増加面積	平成26年度から令和 6年度の機構の借入・ 転貸面積の状況	
	(ha)	集積率 (%)		借入	転貸
	(ha)	(%)	(ha)	(ha)	(ha)
全 国	2,627,068	61.5	33,724	454,089	449,965
東 海 3 県	81,669	45.0	2,391	31,401	31,388
岐 阜 県	23,367	43.4	942	13,184	13,171
愛 知 県	31,711	44.0	815	12,563	12,563
三 重 県	26,591	47.7	634	5,654	5,654

資料：農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」

農業経営体・法人 集落営農（令和2年）

区 分	農業 経営体	法人	割合	集落 営農	集積面積
				(集落営農)	(ha)
	(経営体)	(経営体)	(%)	(集落営農)	(ha)
全 国	1,075,705	30,707	2.9	14,832	469,897
東 海 3 県	66,712	1,826	2.7	751	23,823
岐 阜 県	21,015	675	3.2	338	10,995
愛 知 県	26,893	618	2.3	108	4,513
三 重 県	18,804	533	2.8	305	8,315

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」、「集落営農実態調査」

雇用（令和2年）

区 分	雇い入れた経営体数			農業の 延べ人日 ①	①を 年225日 で換算
	実経営体 (経営体)	常雇い (経営体)	臨時雇い (経営体)		
	(経営体)	(経営体)	(経営体)	(万人日)	(人)
全 国	156,053	36,563	138,823	4,868	216,361
東 海 3 県	7,539	2,721	6,091	308	13,683
岐 阜 県	1,907	592	1,646	80	3,576
愛 知 県	3,604	1,543	2,677	159	7,087
三 重 県	2,028	586	1,768	68	3,020

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

荒廃農地面積（令和5年）

区 分	面積計	再生利用が 可能	再生利用が困難 と見込まれる
	(ha)	(ha)	(ha)
全 国	256,676	93,820	162,856
東 海 3 県	12,770	5,863	6,908
岐 阜 県	2,486	688	1,798
愛 知 県	4,394	2,307	2,088
三 重 県	5,890	2,868	3,022

資料：農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」

野生鳥獣による農作物被害面積（令和5年度）

区 分	鳥獣計	鳥類	獣類			
				イノシシ	サル	シカ
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
全 国	40,854	3,571	37,283	3,776	585	29,539
東 海 3 県	1,060	435	625	237	67	226
岐 阜 県	243	13	230	123	16	69
愛 知 県	622	416	206	68	12	55
三 重 県	196	6	190	45	39	102

資料：農林水産省「野生鳥獣による農作物被害状況」

経営耕地の集積（令和2年）

区 分	経営耕 地面積	5ha以上面積		10ha以上面積	
		実数	割合	実数	割合
	(ha)	(ha)	(%)	(ha)	(%)
全 国	3,232,882	2,117,323	65	1,787,952	55
東 海 3 県	114,678	59,275	52	50,876	44
岐 阜 県	31,765	16,635	52	14,562	46
愛 知 県	43,258	21,308	49	18,333	42
三 重 県	39,656	21,332	54	17,980	45

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

認定農業者（令和6年度3月末）

	認定 農業者	農業経営改善計画認定数			
		法人数	計	単一経営	複合経営
	(経営体)	(経営体)	(経営体)	(経営体)	(経営体)
総 計	216,227	28,810	216,216	128,407	87,809
東 海 3 県	8,246	1,714	8,245	6,571	1,674
岐 阜 県	2,111	626	2,111	1,630	481
愛 知 県	4,049	572	4,049	3,511	538
三 重 県	2,086	516	2,085	1,430	655
東 海	17	12	17	10	7

資料：農林水産省「認定農業者の認定状況」等

農業産出額（令和5年）

区 分	計	米	野菜	果実	花き	畜産
	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)
全 国	95,579	15,279	23,243	9,590	3,522	37,721
東海3県	5,688	701	1,662	305	662	2,135
全国シェア	6.0%	4.6%	7.2%	3.2%	18.8%	5.7%
岐阜県	1,263	192	421	60	59	504
愛知県	3,207	257	1,083	177	563	1,047
三重県	1,218	252	158	68	40	584

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

東海3県の農畜産物生産データ

区 分			年次	単位	岐阜		愛知		三重	
					統計値	順位	統計値	順位	統計値	順位
普通作物	水稲	収穫量	6年	t	101,900	26	130,200	20	120,800	22
	小麦	〃	〃	〃	10,900	11	28,900	4	18,800	8
	六条大麦	〃	〃	〃	330	13	284	14	159	17
	大豆	〃	〃	〃	2,040	18	4,680	12	2,620	16
野菜	だいこん	収穫量	5年	t	21,200	16	21,400	15	…	nc
	かぶ	〃	〃	〃	3,060	7	2,440	11	1,190	16
	にんじん	〃	〃	〃	5,250	12	18,500	9	1,090	24
	れんこん	〃	〃	〃	…	nc	2,670	4	…	nc
	ばれいしょ	〃	〃	〃	…	nc	…	nc	2,010	15
	さといも	〃	〃	〃	3,040	12	3,120	11	1,580	20
	はくさい	〃	〃	〃	8,300	17	19,100	9	9,220	16
	こまつな	〃	〃	〃	1,870	13	…	nc	…	nc
	キャベツ	〃	〃	〃	…	nc	272,700	2	11,900	18
	ちんげんさい	〃	〃	〃	…	nc	2,270	4	…	nc
	ほうれんそう	〃	〃	〃	10,700	6	4,980	11	…	nc
	ふき	〃	〃	〃	…	nc	2,790	1	…	nc
	みつば	〃	〃	〃	…	nc	1,870	2	…	nc
	しゅんぎく	〃	〃	〃	322	15	603	12	…	nc
	セルリー	〃	〃	〃	…	nc	2,750	4	…	nc
	カリフラワー	〃	〃	〃	…	nc	2,430	3	…	nc
	ブロッコリ	〃	〃	〃	…	nc	14,300	3	823	25
	レタス	〃	〃	〃	…	nc	5,110	14	…	nc
	ねぎ	〃	〃	〃	…	nc	6,540	20	3,860	26
	たまねぎ	〃	〃	〃	2,390	25	24,300	5	3,090	23
	きゅうり	〃	〃	〃	5,770	25	13,700	11	1,990	38
	かぼちゃ	〃	〃	〃	…	nc	…	nc	1,760	16
	なす	〃	〃	〃	3,830	20	13,800	6	1,610	35
	トマト	〃	〃	〃	28,400	7	44,500	3	8,810	21
	スイートコーン	〃	〃	〃	1,860	23	6,380	7	1,010	28
	さやえんどう	〃	〃	〃	130	33	1,490	2	502	9
	グリ ンビ ス	〃	〃	〃	149	7	15	26	45	18
	えだまめ	〃	〃	〃	1,210	12	1,110	18	532	26
	いちご	〃	〃	〃	2,690	15	10,600	4	1,840	23
	温室メロン	〃	〃	〃	61	10	3,920	2	210	8
	すいか	〃	〃	〃	495	38	16,800	6	1,400	29
	せり	〃	4年	〃	〃	nc	〃	nc	〃	nc
	なばな(主に葉茎)	〃	〃	〃	〃	nc	〃	nc	〃	nc
	モロヘイヤ	〃	〃	〃	〃	nc	〃	nc	〃	nc
	ラディッシュ	〃	〃	〃	〃	nc	〃	nc	〃	nc
	ルッコラ	〃	〃	〃	〃	nc	〃	nc	〃	nc
	わけぎ	〃	〃	〃	〃	nc	〃	nc	〃	nc
	非結球レタス	〃	〃	〃	〃	nc	〃	nc	〃	nc
果樹	みかん	収穫量	5年	t	-	nc	21,800	7	16,300	9
	早生温州みかん	〃	〃	〃	〃	nc	16,400	7	13,100	8
	普通温州みかん	〃	〃	〃	-	nc	5,480	9	3,170	15
	りんご	〃	〃	〃	1,330	11	…	nc	…	nc
	日本なし	〃	〃	〃	1,730	22	4,820	12	-	nc
	かき	〃	〃	〃	12,100	4	10,100	5	3,900	12
もも	〃	〃	〃	〃	559	10	…	nc	…	nc

区 分		年次	単位	岐阜		愛知		三重		
				統計値	順位	統計値	順位	統計値	順位	
果樹	うめ	収穫量	5年	t	…	nc	786	16	1,460	5
	ぶどう	〃	〃	〃	…	nc	3,210	8	…	nc
	くり	〃	〃	〃	774	4	…	nc	…	nc
	キウイフル ツ	〃	〃	〃	…	nc	267	13	…	nc
	いよかん	〃	4年	〃	…	nc	4	15	10	13
	シラヌヒ(デコボン)	〃	〃	〃	…	nc	531	10	394	13
	セミノール	〃	〃	〃	…	nc	81	4	373	3
	文旦	〃	〃	〃	…	nc	…	nc	10	7
	ボンカン	〃	〃	〃	…	nc	239	10	182	12
レモン	〃	〃	〃	…	nc	39	13	220	6	
イチジク	〃	〃	〃	〃	14	30	1,615	2	24	25
花き	切り花類	出荷量	5年	千本	12,000	33	529,600	1	…	nc
	きく	〃	〃	〃	…	nc	399,000	1	…	nc
	カーネーション	〃	〃	〃	…	nc	31,600	2	…	nc
	ばら	〃	〃	〃	2,870	17	29,900	1	…	nc
	ガーベラ	〃	〃	〃	…	nc	7,630	4	…	nc
	アルストロメリア	〃	〃	〃	…	nc	10,900	2	…	nc
	鉢ものの類	〃	〃	千鉢	10,600	4	42,600	1	4,670	10
	シクラメン	〃	〃	〃	352	13	1,510	2	…	nc
	洋ラン類	〃	〃	〃	…	nc	2,520	1	…	nc
	観葉植物	〃	〃	〃	…	nc	18,200	1	3,290	3
	花木類	〃	〃	〃	3,860	3	6,050	1	…	nc
	花壇用苗もの類	〃	〃	千本	14,300	9	36,000	2	9,230	20
工芸	パンジー	〃	〃	〃	1,690	22	5,400	3	3,550	10
	茶(生葉)	収穫量	4年	t	…	nc	…	nc	…	nc
畜産	茶(荒茶)	生産量	〃	〃	…	nc	…	nc	…	nc
	乳用牛飼養頭数	頭数	6年	頭	5,060	28	18,500	8	6,860	24
	1戸当たり飼養頭数	〃	〃	〃	59.9	30	89.1	9	237.9	1
	肉用牛飼養頭数	〃	〃	〃	34,000	21	42,300	18	31,400	23
	1戸当たり飼養頭数	〃	〃	〃	82.3	23	134.7	10	227.5	3
	豚飼養頭数	〃	〃	〃	91,300	24	287,400	12	98,900	22
	1戸当たり飼養頭数	〃	〃	〃	3,511.5	12	2,082.6	25	2,472.5	22
	採卵鶏飼養羽数	羽数	〃	千羽	5,831	10	8,109	7	5,749	11
	ブロイラー出荷羽数	〃	〃	〃	3,915	24	5,431	21	2,612	31
	1戸当たり出荷羽数	〃	〃	〃	326.3	14	452.6	8	326.5	13

資料：農林水産省「作物統計」、「地域特産野菜生産状況調査」、「特産果樹生産動態等調査」、「畜産統計」
注：1 順位は、統計数値が公表されている都道府県の順位である。
2 表中に使用した記号は、次のとおり。
「－」：事実のないもの
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「nc」：計算不能